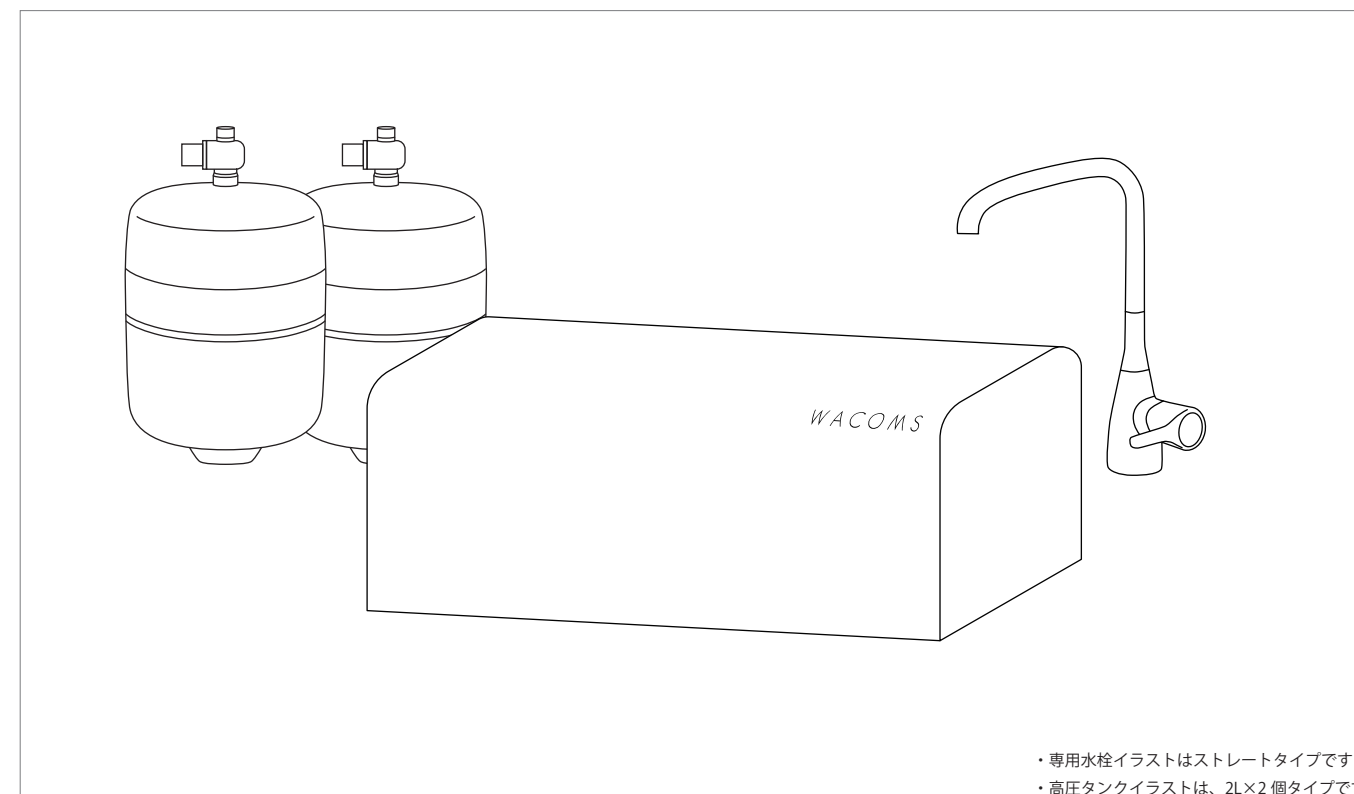


アンダーシンク型家庭用浄水器

WACOMS TRUST under

家庭用	品番 WS300-U1S
-----	--------------

取扱説明書



この度はアンダーシンク型浄水器 WACOMS TRUST under をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
今後長くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
ご使用前に「安全上の注意 P3～5」を必ずお読みください。
また、お読みになった後も、必要に応じてすぐ確認できるよう、大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。
※飲用基準に適合した上水道水以外を原水に使用しないでください。保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品について
- ・WS300-U1S のセット内容は「浄水器本体」と「専用水栓」、「2L 高圧タンク ×2 個」もしくは「4L 高圧タンク × 1 個」です。
 - ・除去対象物質として、家庭用品品質表示法で定められた 3 項目と逆浸透膜で除去が可能な物質を除去します。
 - ・浄水は飲料水や料理用水としてご使用いただけます。
 - ・本浄水器は逆浸透膜フィルターを採用しているため、原水（水道水）を浄水と排水で分離させますが、排水は飲用含む全ての用途に使用しないでください。
 - ・浄水器内部のフィルターは推奨交換期間を守って交換してください。
 - ・浄水はなるべく早めにご使用ください。

目次

安全上のご注意

使用上のご注意

各部名称

ご使用までの流れ

設置後の動作確認

浄水器の仕組み

ろ過能力試験について

逆浸透膜について

お手入れ方法

フィルター交換について

お手入れ完了後の取り付け方法

その他の機能について

定期的な点検

断水・停電した場合

長期間使用しない場合

よくあるご質問

修理を依頼される前に

仕様

P3-5

P6

P7

P8-17

P18-20

P21

P22

P23

P24-26

P27-29

P30

P31

P32

P33

P34

P35

P36

P37

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、必ずお守りくださいますようお願いいたします。

ここに示した内容は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、下記のような警告、注意表示、図記号や用語を用いて説明をしています。本文をお読みいただき、正しくご使用ください。

● 表示の分類

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、怪我や事故、火災など甚大な被害になることがあります。十分にご注意ください。		
危害・侵害の程度別に、2つの区分けで表示しています。		危害・侵害の種類別に、3つの区分けで表示しています。
 警告	死亡または重症を負う恐れのある内容です。	 △記号は、注意事項を示しています。
		 ⊘記号は、禁止事項を示しています。
 注意	障害(*1)を負う恐れ、または物的損害(*2)が発生する恐れのある内容です。	 ●記号は、厳守事項を示しています。

*1：治療に入院や長期の通院を要さない、体調不良などを指します。

*2：家屋・家財及びペット・家畜に関わる拡大損害を指します。

● 図記号の種類

△記号の種類：注意事項					
 注意 基本	 発火注意	 感電注意	 衛生注意	 指の怪我に注意	 電源プラグ取扱注意

⊘記号の種類：禁止事項			
 禁止 基本	 分解禁止	 火気禁止	 接触禁止

●記号の種類：厳守事項		
 厳守 基本	 電源プラグを抜く	 高圧タンクの水を捨てる

⚠ 警告		
廃棄水は、飲料水・生活排水などを含む全てに使用しないでください。 有害物質などが濃縮された不純物を多く含んだ水ですので、廃棄してください。		電源プラグやジャックは根本まで差し込んでください。 トラッキングによる発煙・発火の原因となります。 
浄水後の水は、早めにご使用ください。 別容器に移した水は冷蔵庫で保存し、2～3日以内に消費してください。(塩素も除去するため)		電源プラグのホコリは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。 トラッキングによる発煙・発火や火災の原因となります。 
観賞魚の水としては使用しないでください。 生体に悪影響を及ぼす可能性があります。		差込口の緩いコンセントは使用しないでください。 接触不良による発煙・発火、火災の原因となります。 
ぬれた手で電源プラグやジャックを接続しないでください。 感電の原因となります。		電源プラグやジャックを抜くときは、必ずコードではなくプラグやジャックを持って抜いてください。 断線による発熱・発火の原因となります。 
電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。 故障や発煙・発火、火災の原因となります。		浄水器本体の異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。 
電源プラグやコードに負荷をかけたり、加工をしたりしないでください。 感電や発煙・発火、火災の原因となります。		

⚠ 注意		
40℃以上の温水・4℃以下の冷水、0.4MPa以上の水圧の水を浄水器に供給しないでください。 故障の原因となります。		不必要に電源プラグやジャックを抜き差ししないでください。 抜き差しを繰り返すと、アダプタ内のヒューズがきれてしまう場合があります。 
雷天時は電源プラグを抜き、浄水器を使用しないでください。 雷サージ(異常電圧)により、故障の原因となります。		稼働時は止水ボールバルブ(水道水1次コック)及び水道水2次コックが開いていることを確認してください。 
飲用基準に適合した水道水以外を浄水器に供給しないでください。 フィルターの早期交換・故障の原因となります。		小動物への飲料水とする場合、使用後約3ヶ月経過ののちご使用ください。 使い始めは浄水のアルカリ度が高くなる場合があります。 
お客様ご自身での分解・修理はしないでください。 故障や怪我の原因となります。		フィルターは推奨される交換目安時期を守って交換してください。 故障の原因となります。 
本品の上に物を置かないでください。 本体のキズやへこみの原因となります。		長期間使用しない場合、電源プラグを抜き、止水ボールバルブ(水道水1次コック)を閉じてください。 使用を再開する場合は「長期間使用しない場合」(P32)に従いご使用ください。 
浄水器を移動する時は電源プラグ及びジャックを抜き、水道水及び高圧タンクの1次・2次コックを閉じ、各ラインを抜いてから移動してください。 故障の原因となります。		長期間使用しないまま高圧タンク内に水が残っている場合、水質が低下している恐れがあります。 「長期間使用しない場合」(P32)に従いご使用ください。 

使用上のご注意

水道水(原水)について

■周辺で水道管の工事などが行われている場合は、水道水が濁りやサビにより変色していないことを確認してください。
※本製品でも除去は可能ですが、フィルターの交換頻度を早めてしまうおそれがあります。
※水道水に異常が見られた際は直ちに、分岐先の止水コックを「閉じて」本製品のご使用を中断してください。
■水質基準に適合していない原水は使用しないでください。

取付について

■以下のような場所には設置しないでください。
・凍結の可能性がある場所
・土台が不安定な場所
・不衛生な場所
・温度が高い場所
・耐荷重制限を超える場所

逆浸透膜及び廃棄水について

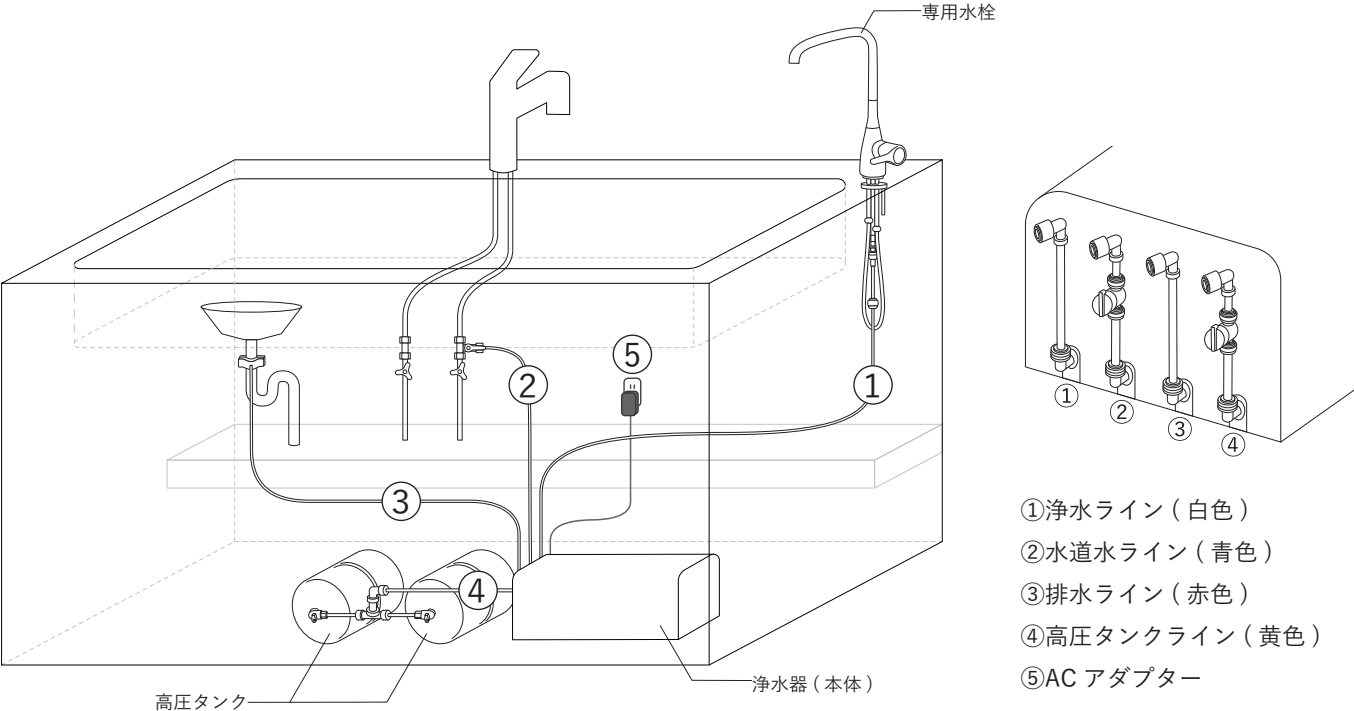
■本製品の浄水フィルターの一部に逆浸透膜を採用しております。
水道水を浄水と排水に分ける仕様になっておりますが、排水は全ての用途に使用しないでください。
(逆浸透膜の特性について詳しくはP21をご参照ください)

フィルターについて

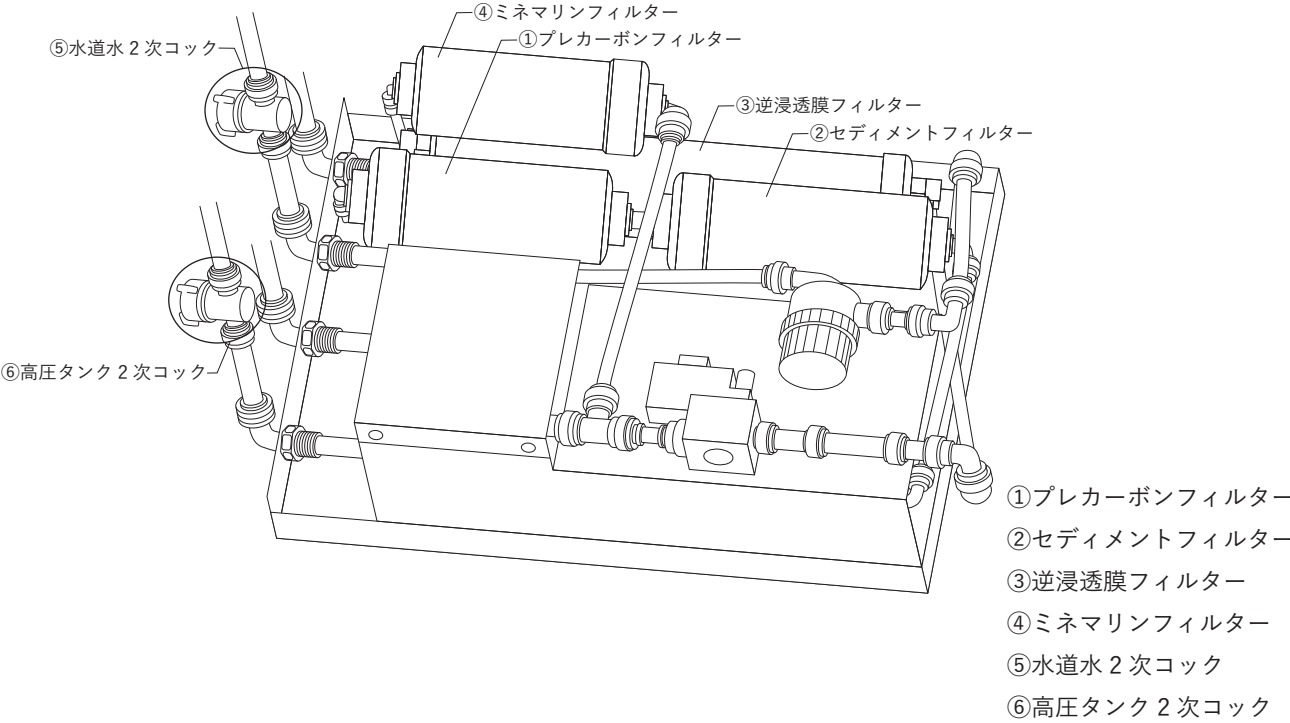
■本製品には4種類のフィルターが組み込まれており、それぞれ交換推奨期間が設定されています。
使用水量に関わらず、推奨期間時期に交換作業をしてください。
■フィルターには通水方向がそれぞれ設定されています。フィルター交換の際は作業手順を厳守してください。

各部名称

取付例



浄水器本体

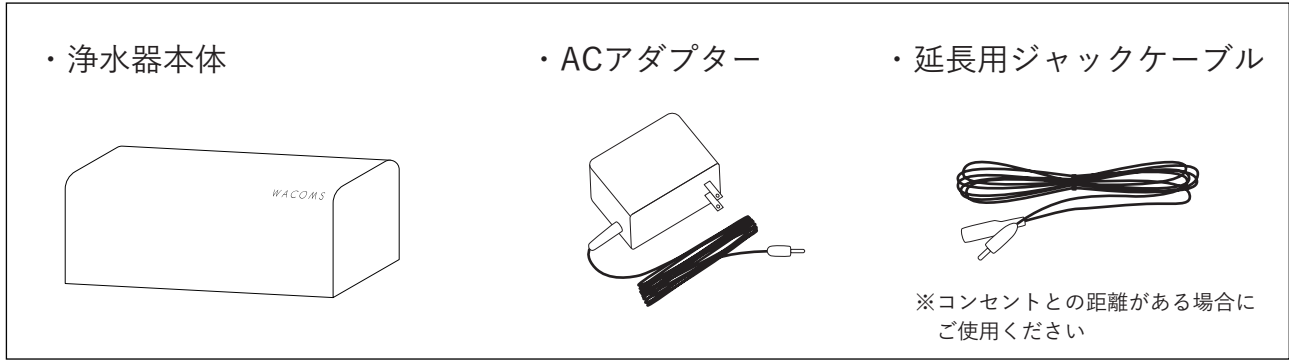


ご使用までの流れ

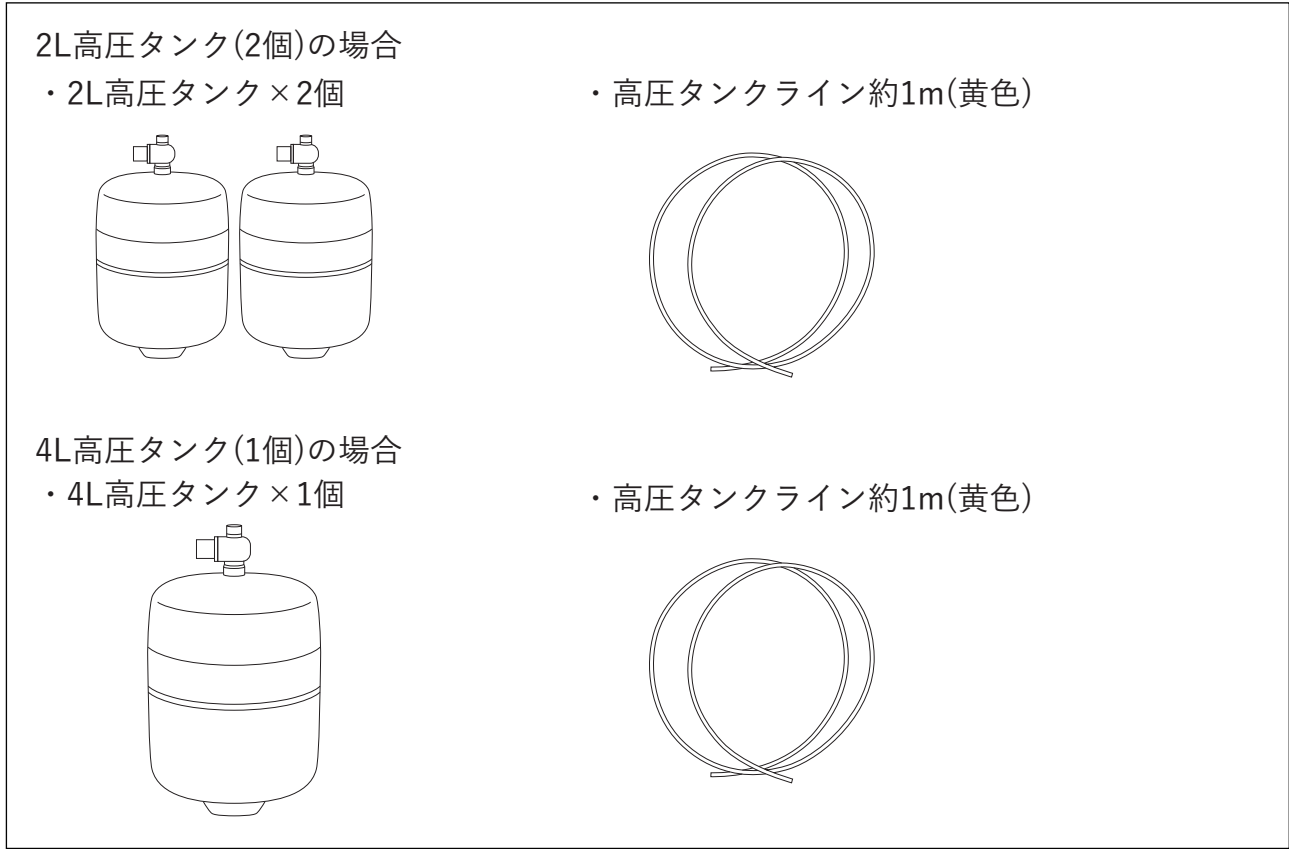
- 取付1 本体と付属品を確認する・・・P8-9
- 取付2 給水栓の分岐作業をする・・・P10
- 取付3 専用水栓を取り付ける・・・P11-13
- 取付4 排水管へ排水チューブを接続する・・・P14
- 取付5 ACアダプターと延長ケーブルの接続・・・P15
- 取付6 本体と高圧タンクを設置する・・・P16
- 取付7 接続する(連結と動作確認)・・・P17

取付 1 本体と付属品を確認する

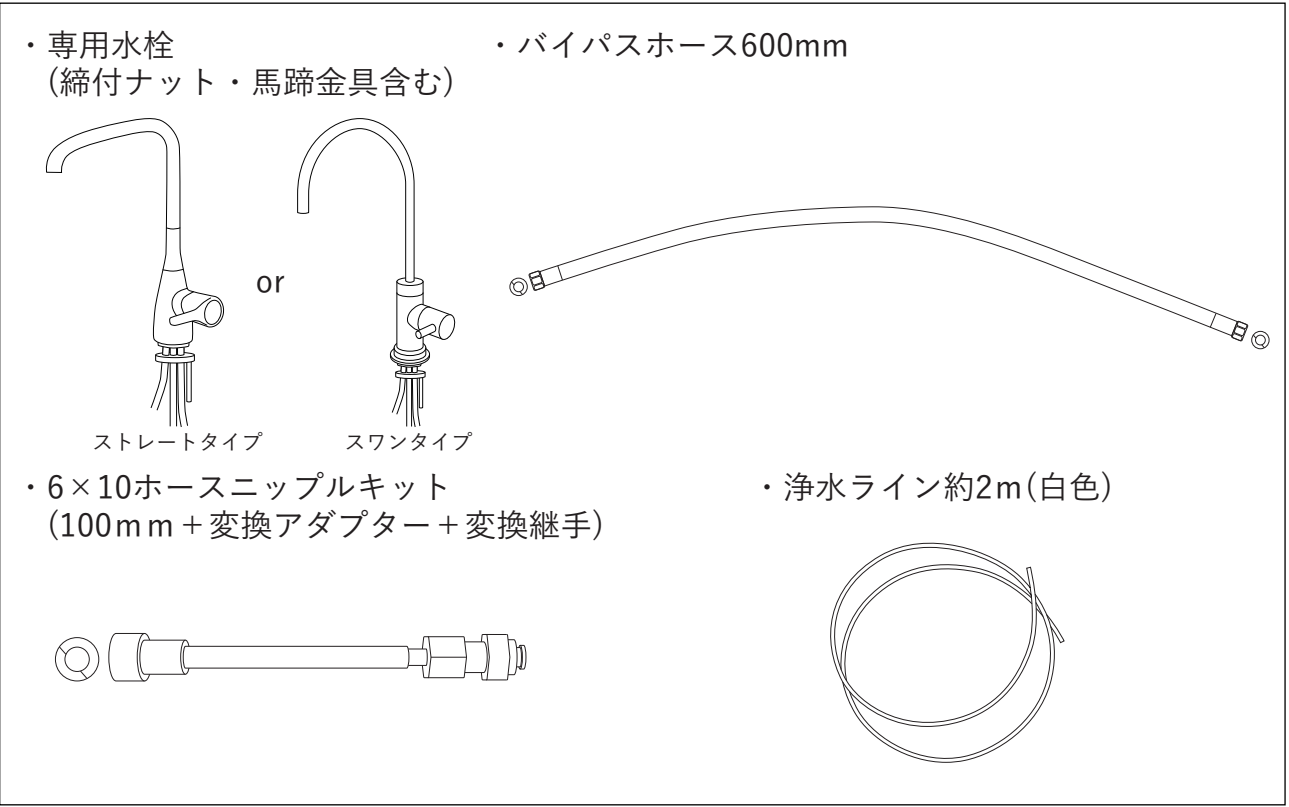
浄水器本体と関連部材



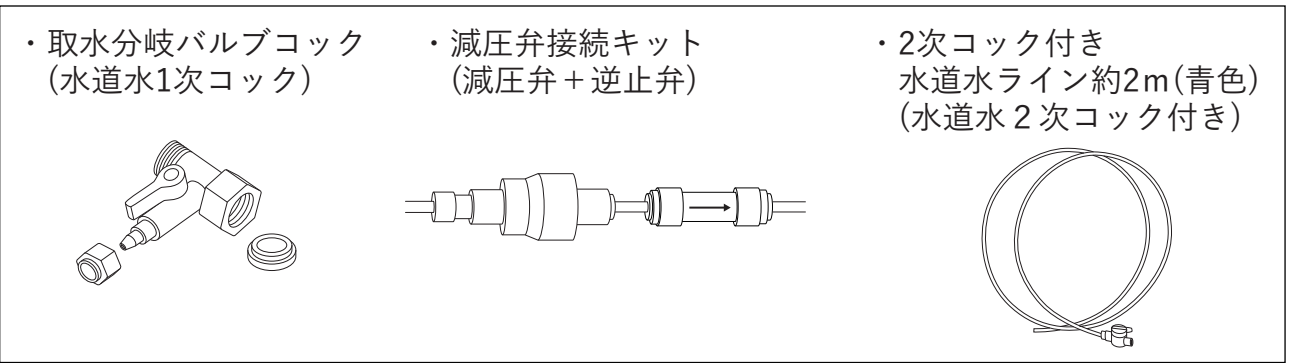
高圧タンク及び関連部材



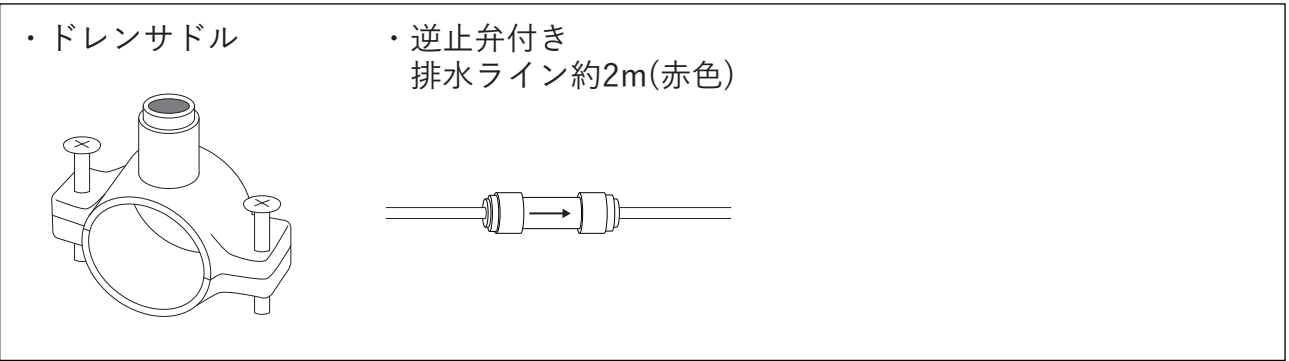
専用水栓及び関連部材 ※専用水栓箱に全て同梱



水道分岐関連部材



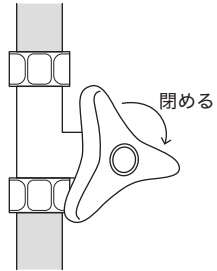
排水ライン接続関連部材



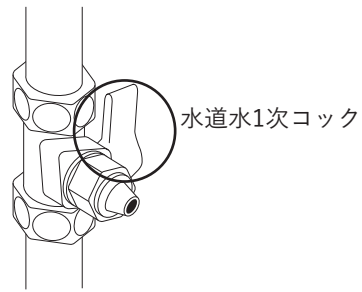
※梱包箱は保管しておいてください。修理対応時に使用します。

取付 2 給水栓分岐の仕方

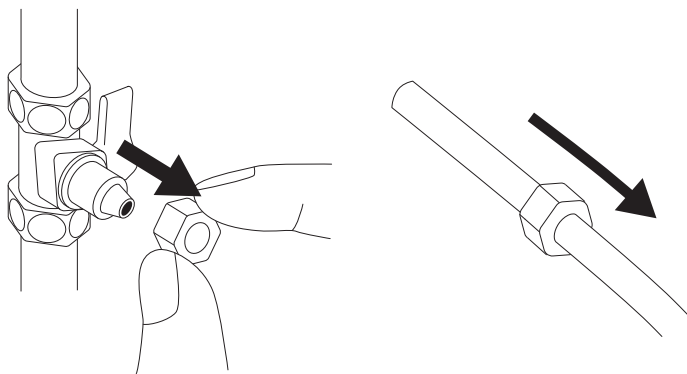
- ① 大本の給水バルブを閉めます。
※施工作業中は断水状態になります。



- ② 給水管に取水分岐バルブコックを接続します。
※温水専用の給水管には接続しないでください。
※水道水1次コックは閉じたままにします。



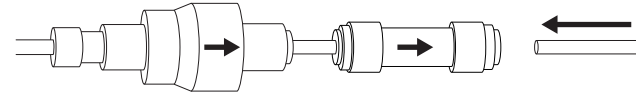
- ③ ナットを回して取外し、減圧弁接続キットのチューブに取外したナットを挿入します。



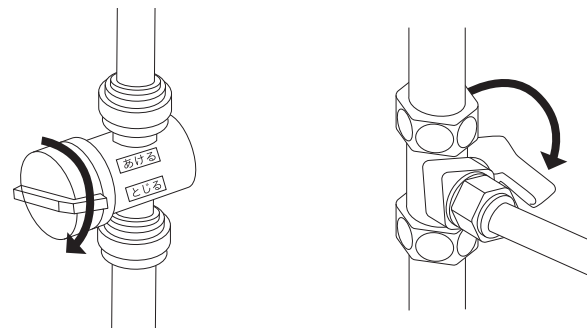
- ④ チューブを接続し、ナットで締付けます。



- ⑤ 逆止弁に水道水ライン(青色、約2m)を接続します。
※2次コックが付いていない方を接続します。



- ⑥ 2次コックが「CLOSE」に向いていることを確認し、取水分岐バルブコックの1次コックをゆっくりと開け、分岐から水が通水し、2次コックで水が止められていることを確認します。



※2次コックは
浄水器との接続後に
「OPEN」に回します

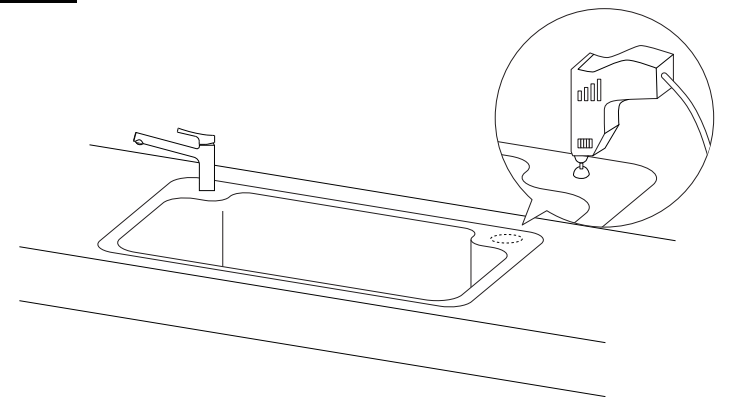
※設置の仕方により
レバーの方向が
逆の場合があります

取付 3 専用水栓の取り付け方

浄水器専用水栓ストレートタイプの場合

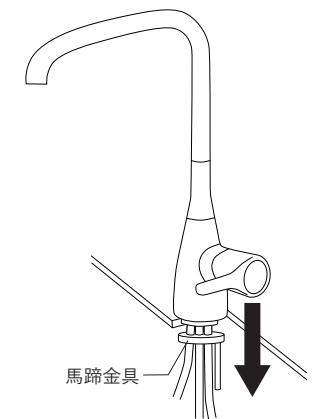
シンク天板に穴をあける

- 天板の穴あけ方法
取付位置を確認して
直径36mmを基準として35～37mmの
範囲内でドリルで穴を開けてください。
※専門業者へご依頼ください。



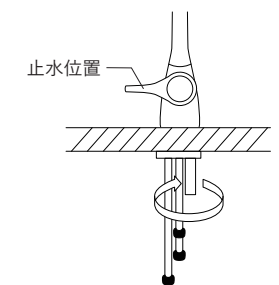
専用水栓の取付

- ① 専用水栓から締付ナット、馬蹄金具を外し、
専用水栓を穴に差し込み、正面を向くように
仮固定する
- ② 馬蹄金具、締付ナットを順に組付ける
※専用水栓が取付穴の中心に来るように固定し
てください
- ※ステンレス製カウンターで補強板が無い場合
は固めの補強板(合板など)を取付けてください



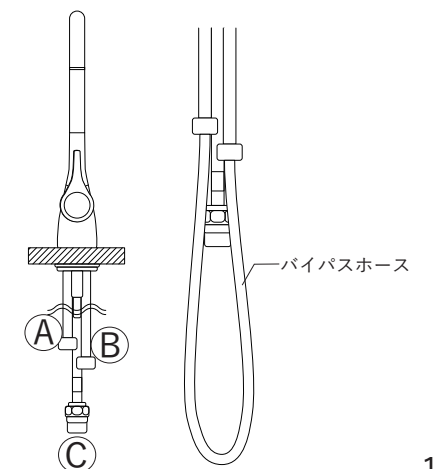
専用水栓の固定

- 締付ナットをレンチ等で締付けて専用水栓を固定する。
※固定する前に取付穴周囲の汚れを取り除いてください
※専用水栓のレバーハンドルは止水位置にしてください
※締め付けナットの径は12mmのため、作業スペースによりφ12mmのロングソケット、またロングジョインターをご用意ください

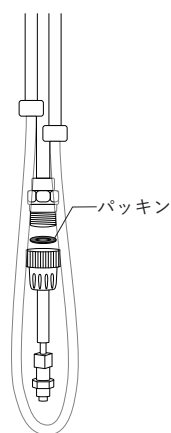


専用水栓配管の連結

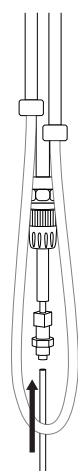
- ① AとB部分にバイパスホースを接続します。
※必ず両方にパッキンが挿入されていることを確認してください
- ※レンチ等でナットをしっかりと固定してください
- ※バイパスホースは引き出しと並行になるように配置してください



- ②Cに6×10ホースニップルキットを接続します。
 ※必ずホースニップルキットにパッキンが挿入されていることを確認してください
 ※レンチ等でナットをしっかりと固定してください



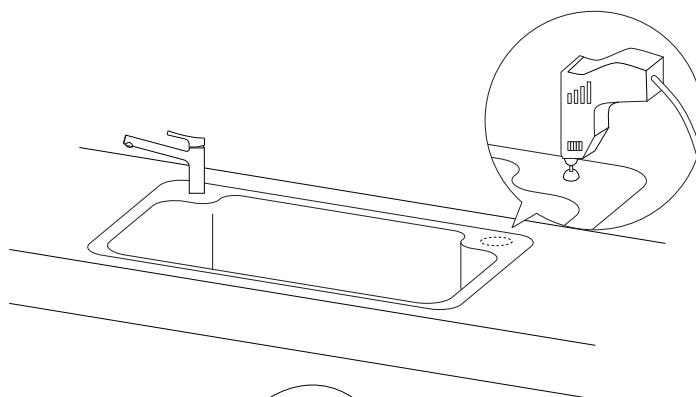
- ③浄水チューブ(白色、3m)を6×10ホースニップルキットの継手に挿し込みます
 ※ぐっと継手の奥まで挿入してください



浄水器専用水栓スワンタイプの場合

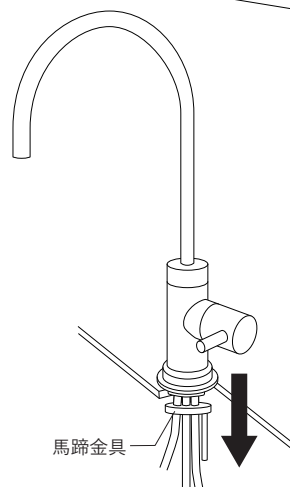
シンク天板に穴をあける

- 天板の穴あけ方法
 取付位置を確認して、直径35～38mmの範囲内でドリルで穴をあけてください。
 ※専門業者へご依頼ください。
 ※上記の範囲内で穴あけが難しい場合は直径29～30mmの範囲内で穴をあけてください。



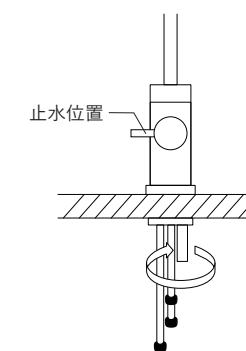
専用水栓の取付

- ①専用水栓から締付ナット、馬蹄金具を外し、専用水栓を穴に差し込み、正面を向くように仮固定する
 - ②馬蹄金具、締付ナットを順に組付ける
 ※専用水栓が取付穴の中心に来るように固定してください
- ※ステンレス製カウンターで補強板が無い場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください



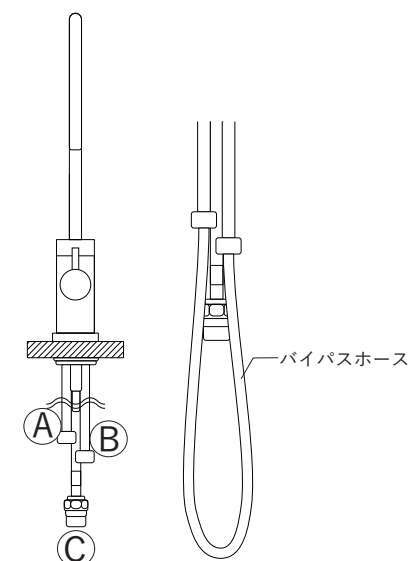
専用水栓の固定

- 締付ナットをレンチ等で締付けて専用水栓を固定する。
 ※固定する前に取付穴周囲の汚れを取り除いてください
 ※専用水栓のレバーハンドルは止水位置にしてください
 ※締め付けナットの径は12mmのため、作業スペースによりφ12mmのロングソケット、またロングジョインターをご用意ください

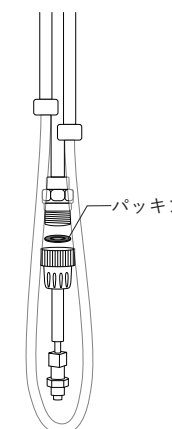


専用水栓配管の連結

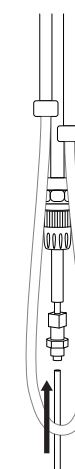
- ①AとB部分にバイパスホースを接続します。
 ※必ず両方にパッキンが挿入されていることを確認してください
 ※レンチ等でナットをしっかりと固定してください
- ※バイパスホースは引き出しと並行になるように配置してください



- ②Cに6×10ホースニップルキットを接続します。
 ※必ずホースニップルキットにパッキンが挿入されていることを確認してください
 ※レンチ等でナットをしっかりと固定してください

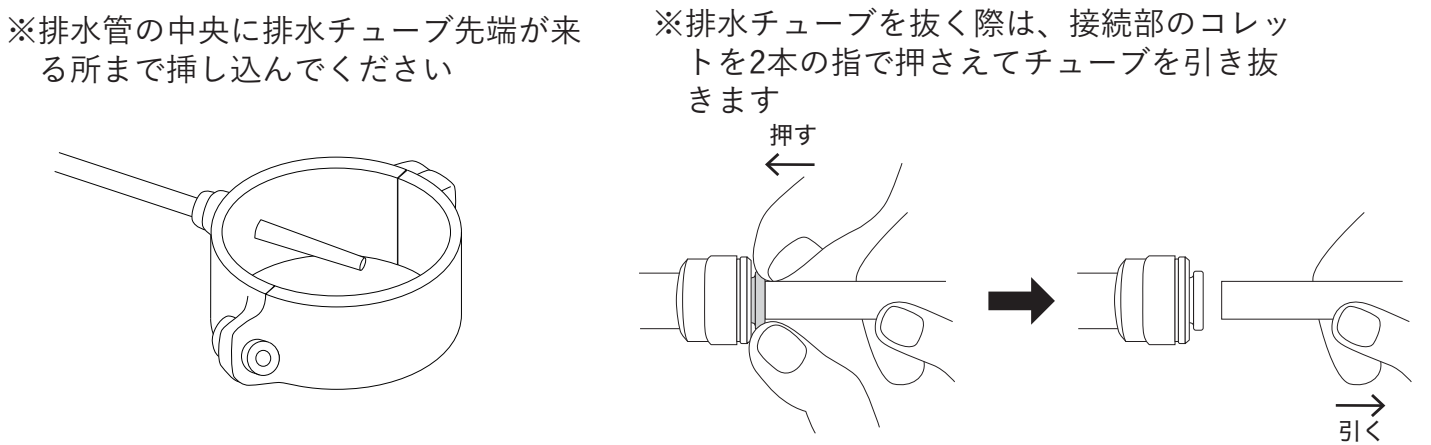
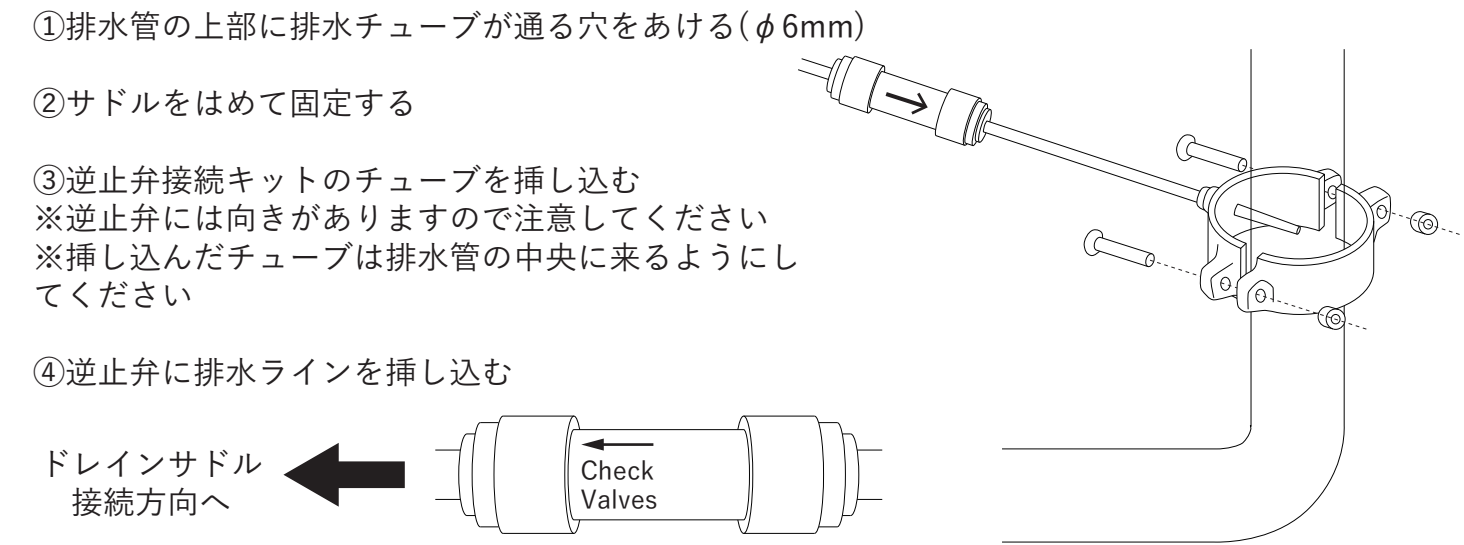


- ③浄水チューブ(白色、3m)を6×10ホースニップルキットの継手に挿し込みます
 ※ぐっと継手の奥まで挿入してください



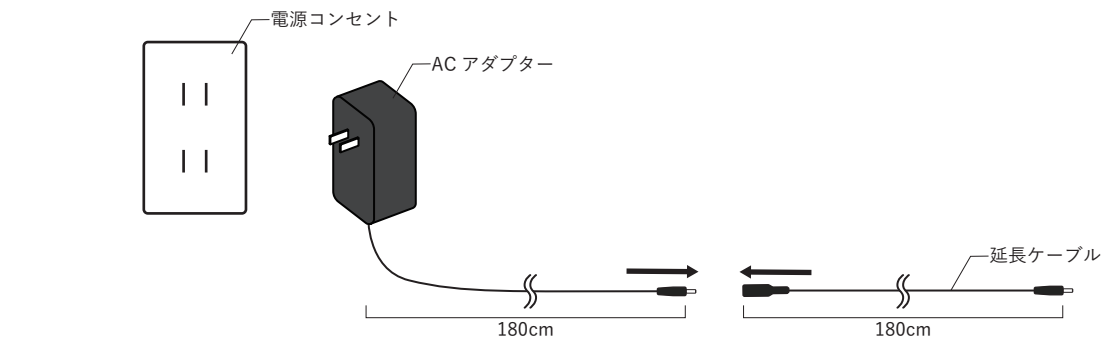
取付4 排水管への排水チューブ接続

※排水管の径がドレインサドルと合わない場合は、排水管のジョイント付近にφ6mmの穴を開け、開口部にコーキングを充填し、排水ホースを挿し込んでください。挿し込み後、ホース内にコーキングがつかまらないように息を吹き込んで確認してください。
挿し込みと吹き込みが完了したら、挿し込み部周辺へコーキングを塗って防水処理をしてください。逆止弁は排水管に挿し込まずに作業をしてください。
※逆止弁には向きがありますのでご注意ください。



取付5 ACアダプターと延長ケーブルの接続

ACアダプターと延長用ケーブルの接続



取付6 浄水器と高圧タンクの配置の仕方

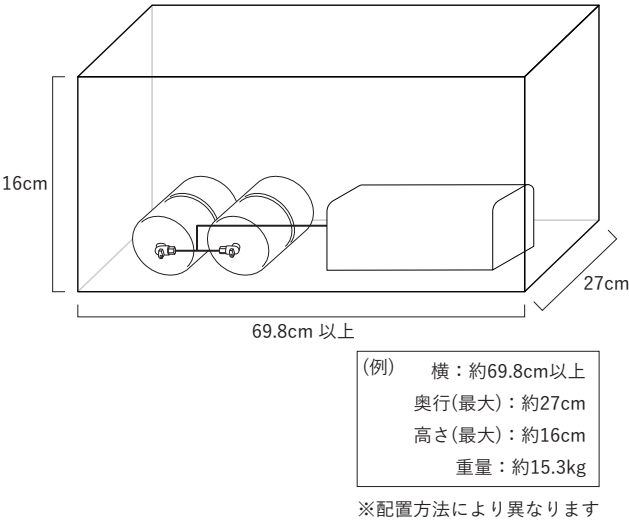
※シンク下収納部分の寸法や耐荷重により、高圧タンクの数量と種類が変わります。
※最下段の収納部分に配置をしてください。

浄水器本体(継手含む)
寸法：幅36.8cm×奥行20.2cm×高さ16cm
重量(使用時)：約8.5kg

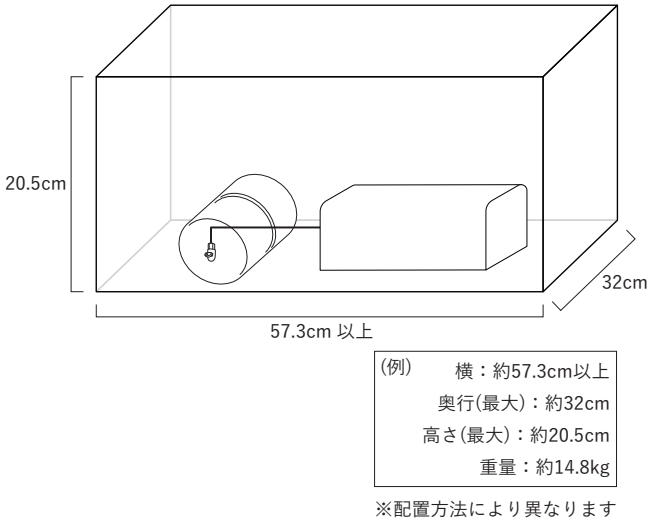
2L高圧タンク×2個(継手含む)
寸法：幅33cm×奥行27cm×高さ16cm
重量(満水時)：約6.8kg

4L高圧タンク×1個(継手含む)
寸法：幅20.5cm×奥行32cm×高さ20.5cm
重量(満水時)：約6.3kg

2L高圧タンク×2個の
目安配置スペース寸法

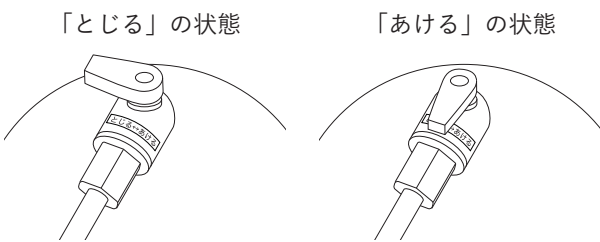


4L高圧タンク×1個の
目安配置スペース寸法

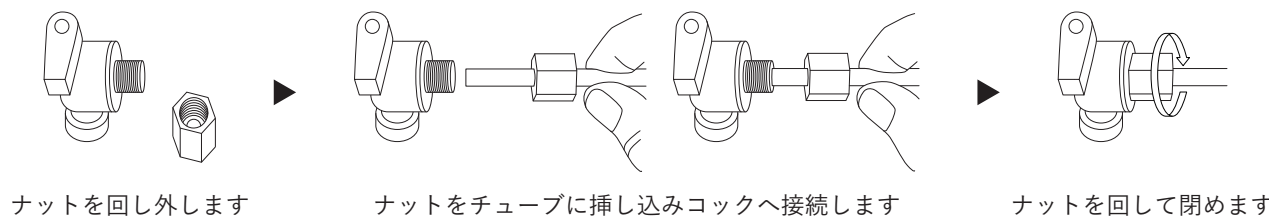


高圧タンクについて

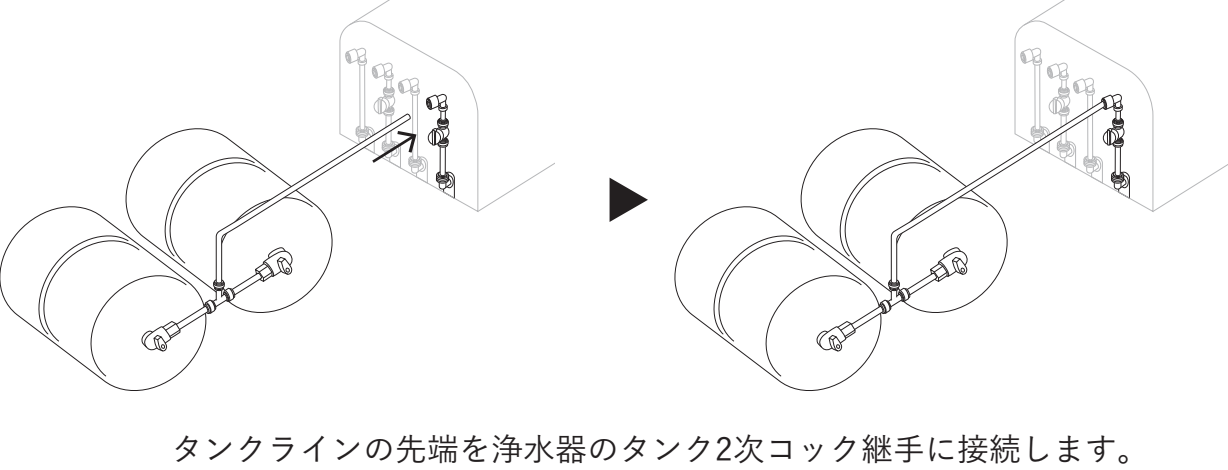
浄水器で浄水された水を貯水し、タンク内の圧縮空気圧により勢いよく浄水を専用水栓に送る機能があります。
(発送時に高圧タンク1次、2次コックは「とじる」方向にコックがまわっています。)
また、タンク貯水部は空気の触れない真空状態になり、逆浸透膜通過後の純水が貯水されます。常に衛生状態が保たれ、タンク内洗浄を必要としません。



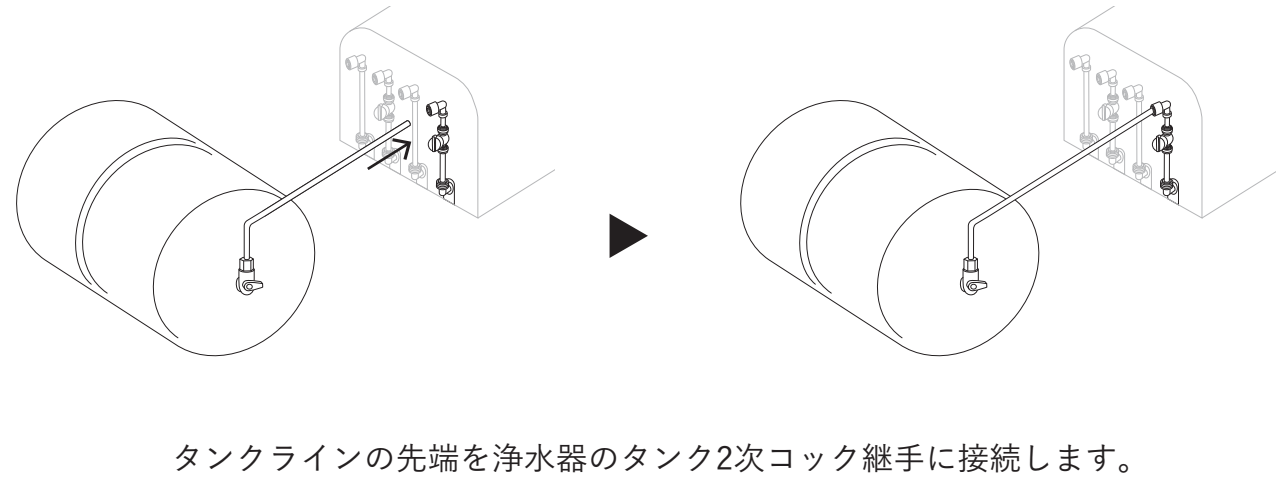
高圧タンク1次コックへのチューブ接続方法



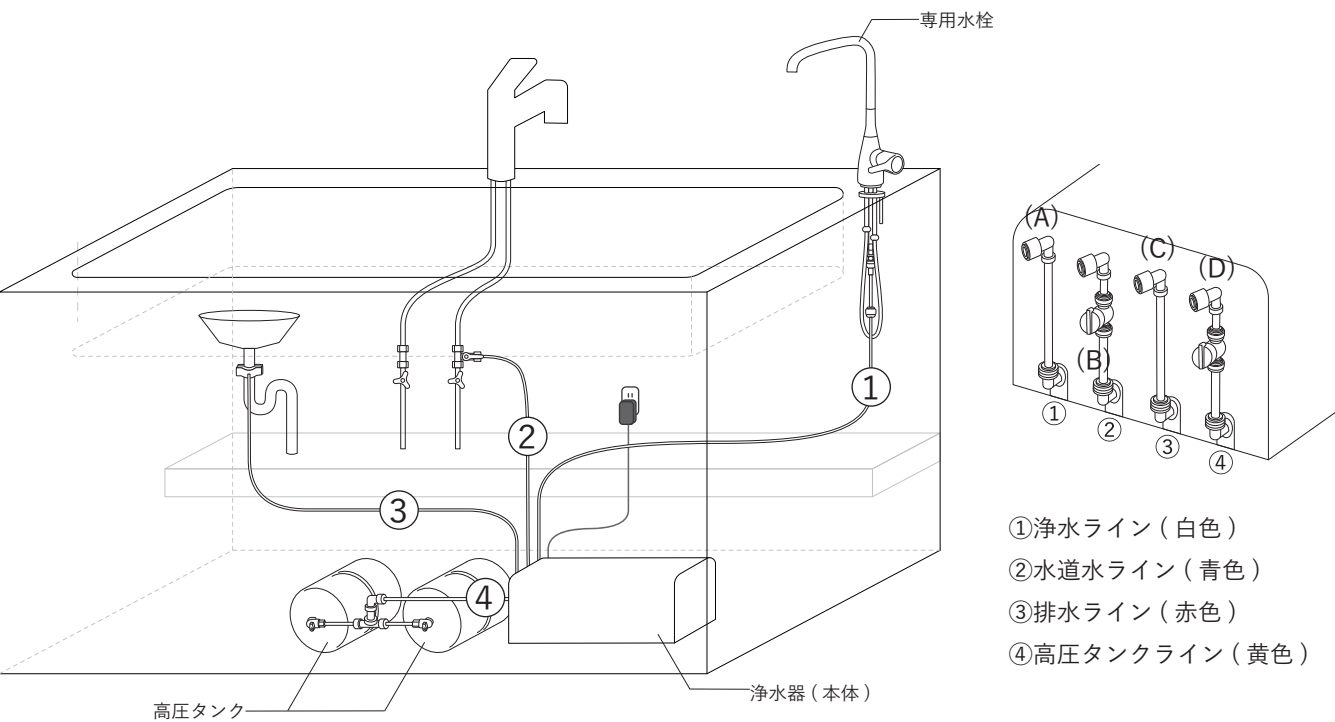
2Lタイプ×2個の浄水器接続方法



4L タイプの場合の配置方法



取付7 連結の仕方



- ① 浄水ライン(白色)
P11~12で専用水栓に接続した浄水ライン(白色)を右上図(A)の継手に接続します。
- ② 水道水ライン(青色)
P10で施工した水道水ライン(青色)の2次コックを右上図(B)のチューブに接続します。
- ③ 排水ライン(赤色)
P12で排水口に接続した排水ライン(赤色)を右上図(C)の継手に接続します。
- ④ 高圧タンクライン(黄色)の接続
P14で高圧タンクに接続した高圧タンクライン(黄色)を右上図(D)の継手に接続していることを確認します。
※高圧タンク1次・2次コックを「あける」「OPNE」に向けてください。

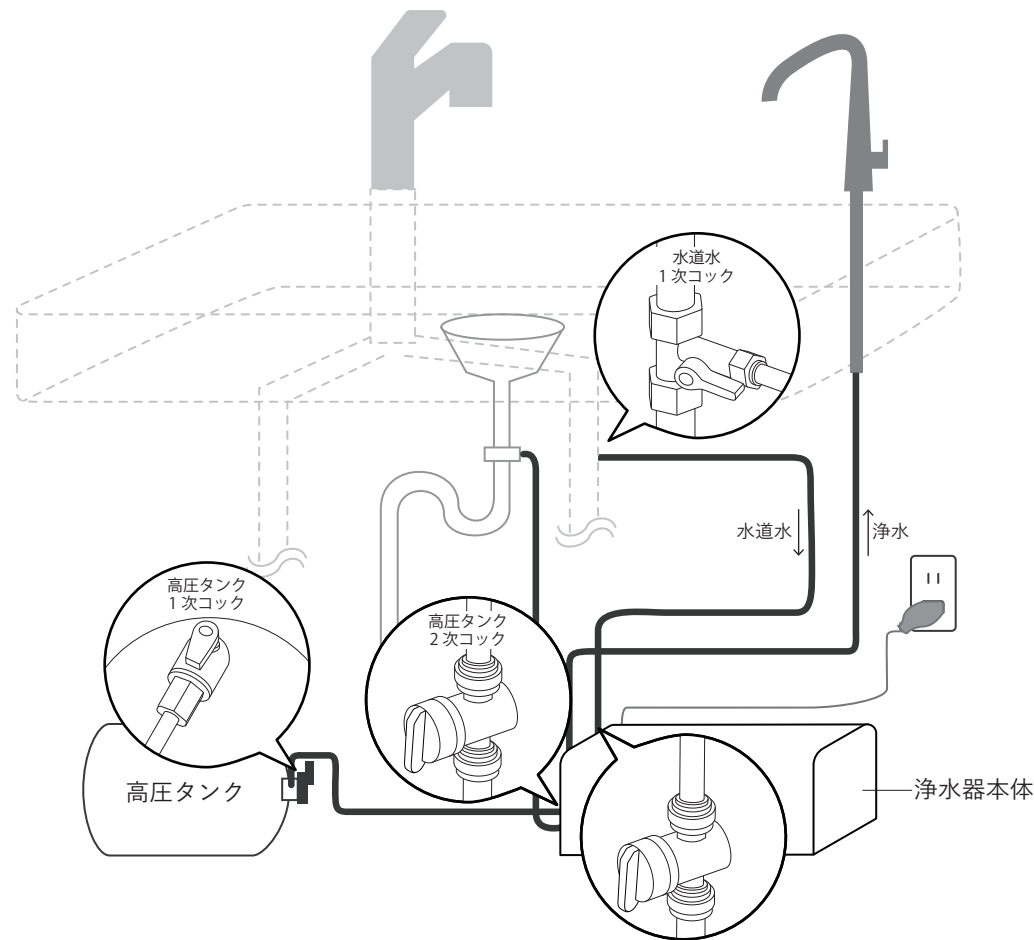
設置後の動作確認

- 1** 前項での接続がしっかりされているかの確認をし、水道水2次コックをゆっくりと「あける」に回します。

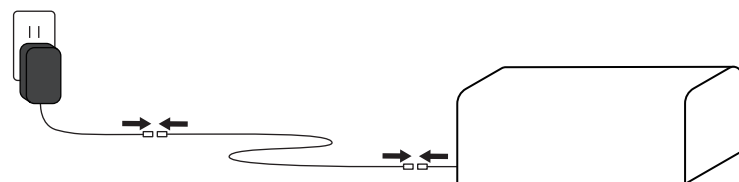
- 2 水道水分岐から浄水器本体までの接続箇所に水漏れが無い事を確認します。

※水漏れが発生している場合は、水道水1次、2次コックもしくは元栓を閉めてから接続をしておしてください。

全てのコックが開いていることを確認します。



- 3** 電源アダプターと本器から伸びている電源コネクタ同士を接続し浄水器に電源を入れて稼働させます。
電源アダプターに延長ジャックを接続し、浄水器から出ているジャックに接続し稼働させます。



- 4** 電源ジャック接続から30秒間はAFR(オートフラッシング機能)が働き逆浸透膜を勢いよく水が流れ、膜に付着した不純物質を洗い流します。排水は排水ラインを通り、排水口に流れていきます。

※排水接続口には逆止弁が接続されているため、排水が逆流することはありません。

接続箇所から水漏れがないことを確認します。

- 5** 専用水栓のレバーを上げ、浄水が出てくることを確認し、接続箇所から水漏れがない事を確認します。確認後は専用水栓のレバーを下げて、浄水を高圧タンクに貯水させます。

※上記作業時には高圧タンクに浄水が貯水されていないため、流量の少ない浄水が専用水栓から出てきます。

- 6** 高圧タンクに水が貯まるまでの間に、施工及び接続した箇所から水漏れが無いかの確認をしてください。

- ・専用水栓の吐水量は高压タンク内の貯水量により変動します。
- ・2L高压タンク×2個が満水になるまで、水温が $23^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 時で**約15分程**かかります。
- ・4L高压タンクが満水になるまで、水温が $23^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 時で**約20分程**かかります。

※満水時間はいずれも、水圧、水温、フィルター消耗具合により変動します。

7 配置した浄水器の配管が引き出しの開け閉めに干渉していないか確認をしてください。

- ・引き出しを開ける時、閉める時に引っかかりがないか。
- ・設置した引き出しの上に引き出しがある場合、そちらの開け閉めに引っかかりがないか。

※引き出しの開け閉めによって配管が動くことにより、引っかかりがないように配管の長さを調節してください。(調節の際にはチューブカッターを使用してください。水漏れの原因になります)

※結束バンドなどで配管を軽くまとめることで、引っかかりがなくなることがあります。

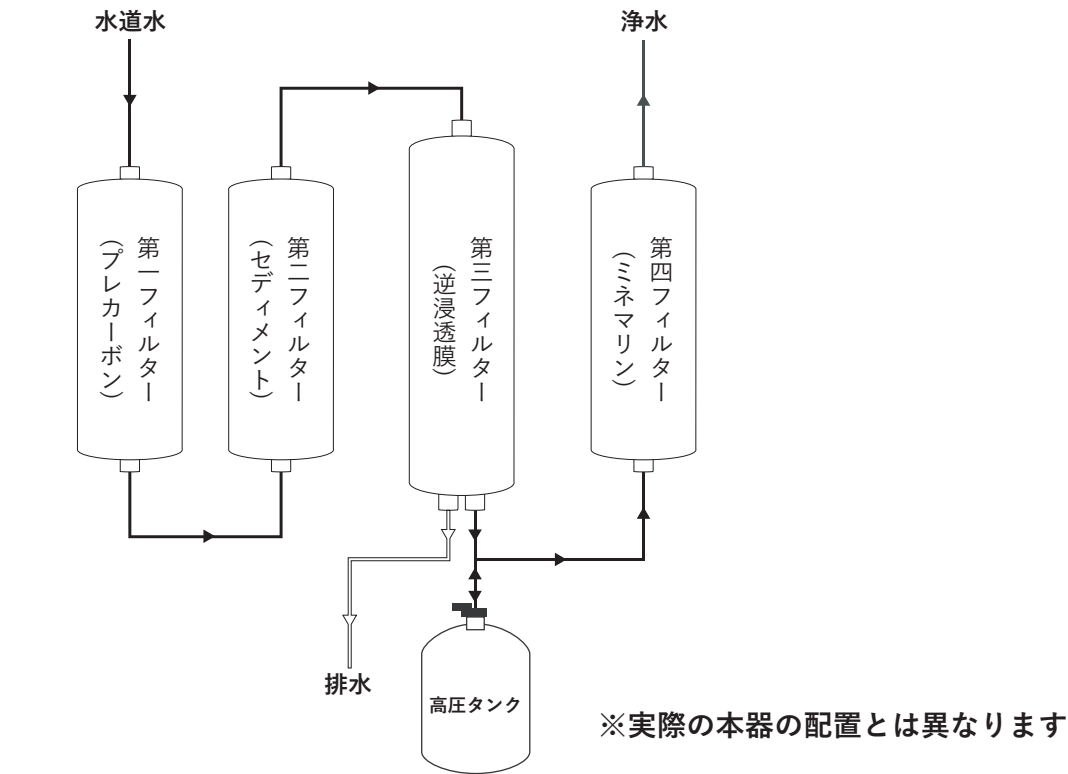
・設置完了後、通常使用時に水道水 2 次コック、高圧タンク 2 次コックは使用しません。フィルター交換やメンテナンス等で浄水器本体を収納部より取り出す際に使用します。

・2 次コックのレバーを「CLOSE」の方向に回しコック下のチューブから取り外すことで、水道水 1 次コックや高圧タンクの 1 次コックを「CLOSE」に回さなくても済むように設計されています。

※2 次コックだけでの止水は長期間の水圧に耐えられないおそれがありますので、2 日以上止水される場合は水道水 1 次コックと高圧タンク 1 次コックを閉じてください。

浄水器の仕組み

浄水フロー



フィルターの特徴

- < プレカーボン >
- ①残留塩素、カビ臭、(フェノール類)等を除去します。
 - ②銀付着活性炭を採用することで雑菌の繁殖を抑制します。

< セディメント >
5 μ mの不織布フィルターで濁り、赤さび、バクテリア等を除去します。

< 逆浸透膜 >
0.0001 μ mの逆浸透膜フィルターにより硝酸酸態窒素・亜硝酸酸態窒素、ヒ素、農薬、溶解性鉛等を除去します。

< ミネマリン >
逆浸透膜で浄水された水に、カルシウム・マグネシウムを溶出させます。

ろ過能力試験について

遊離残留塩素	ろ過水量 5,475L(除去率 80% JIS S 3201 での試験結果)
濁り	ろ過水量 5,475L(除去率 80% JIS S 3201 での試験結果)
溶解性鉛	ろ過水量 21,900L(除去率 80% JIS S 3201 での試験結果)

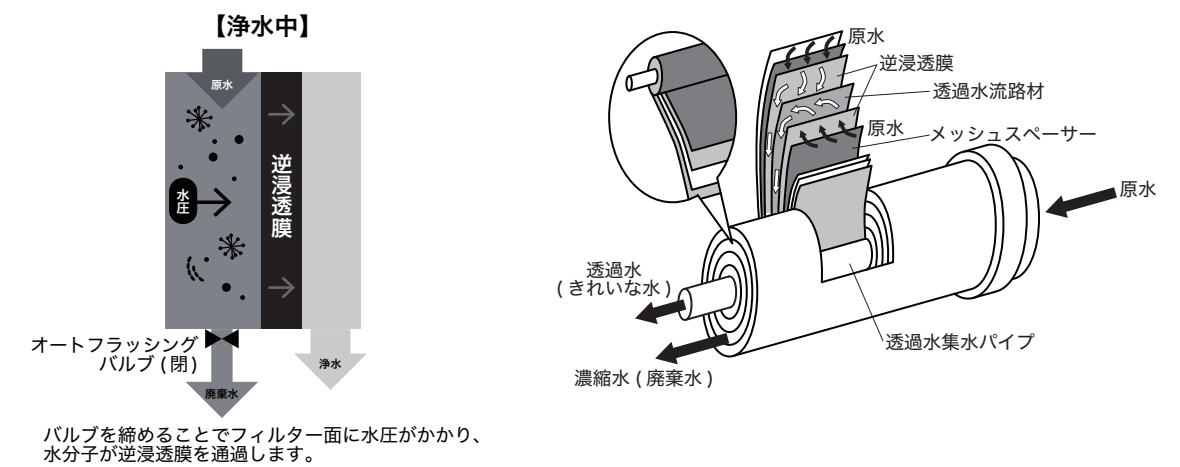
除去性能について

硝酸態窒素 ^{※(1)}	除去率 99%以上
亜硝酸態窒素 ^{※(1)}	除去率 99%以上
ヒ素 ^{※(1)}	除去率 98%以上
PFOS 及び PFOA ^{※(2)}	除去率 98%以上

※(1)JIS S 3242 試験を参考にした試験結果より

※(2)JWPAS B210 に準拠した試験結果より

逆浸透膜について



逆浸透膜とは

動植物の細胞膜がもつ自然の浄水機能(純水は通過し、不純物質は通過しない)に注目し、それを応用した技術となります。

水が逆浸透膜を通過する際に加圧ポンプにより圧力をかけていくことで純水と不純物質を多く含んだ水(排水)とで分離させるため、本浄水器で浄水中は必ず排水が生成されます。

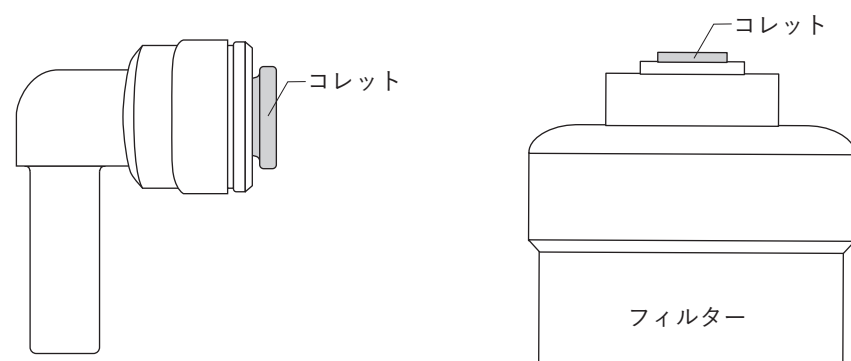
回収率とは

原水量を100%とした際に、生成される浄水の割合のことです。
※回収率は水温や原水の水質によって変動します。

お手入れ方法

継手・チューブの取り外し・取り付け方

配管接続パーツの各部の名称



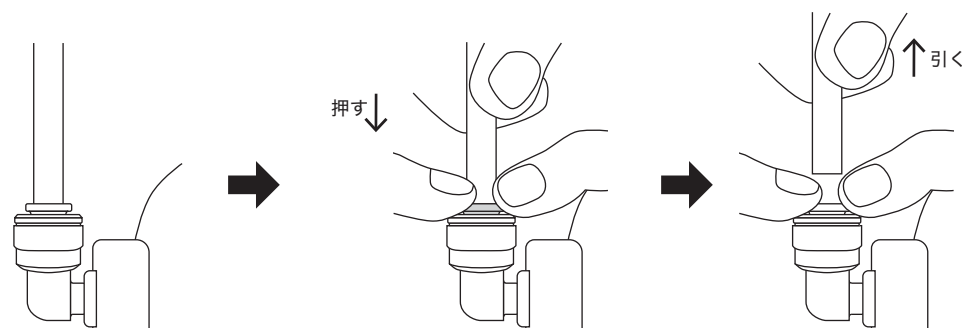
「挿し込む時」

継手の場合：強く奥まで挿し込みます。

チューブの場合：まずは弱く挿し込みます。すぐ壁にあたりますので、そこから強く挿し込むことで奥までチューブが挿し込まれている状態となります。

「抜く時」

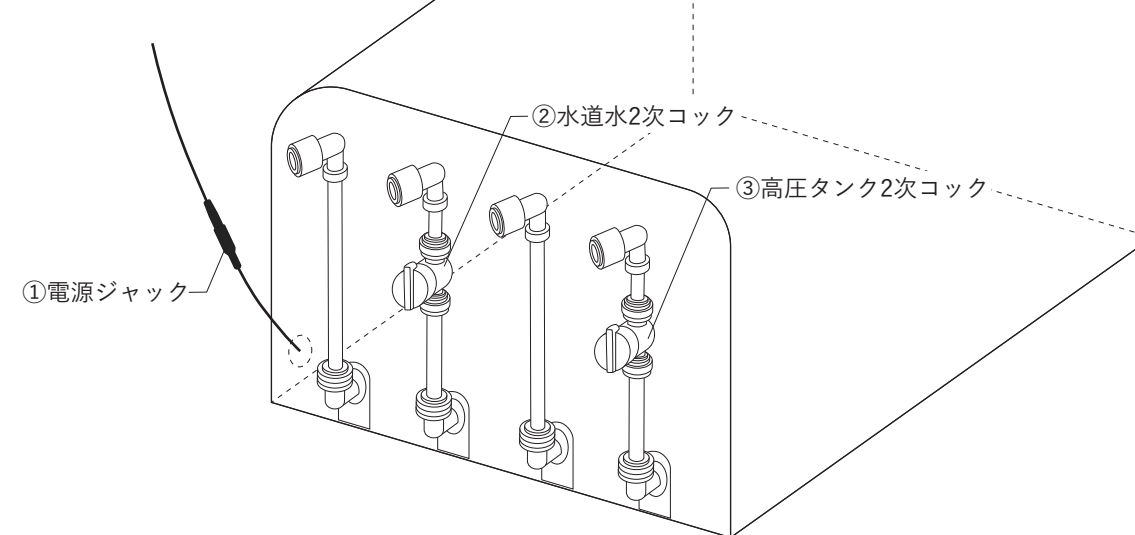
コレットを押さえながらチューブや継手を抜きます。



※注意

チューブを抜く際は抜いた箇所から水が漏れてきますので、作業中もしくは作業完了後に拭いてください。

全体図

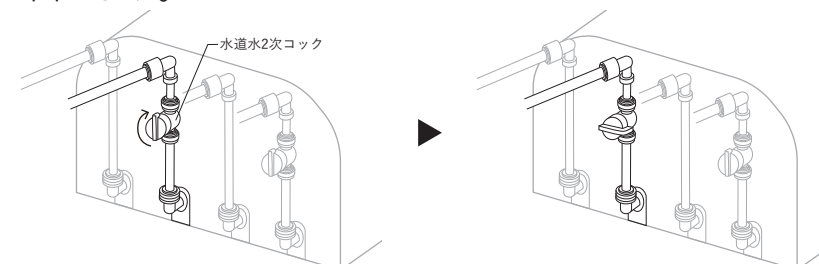


取り外し方①

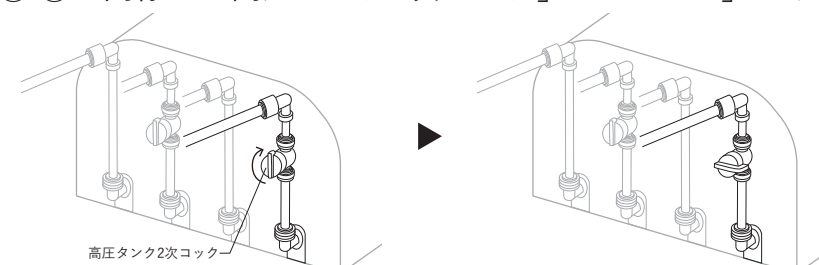
①電源アダプターのジャックを外し、浄水器の電源をOFFにします。



②浄水器本体左側の「水道水2次コック」を「OPEN」から「CLOSE」に回します。



③②と同様に「高圧タンク2次コック」を「OPEN」から「CLOSE」に回します。



④専用水栓のレバーを上げて、浄水器にかかっている圧力を抜きます。

少量の水が専用水栓から吐水されます。

その後水栓レバーは下げておいてください。

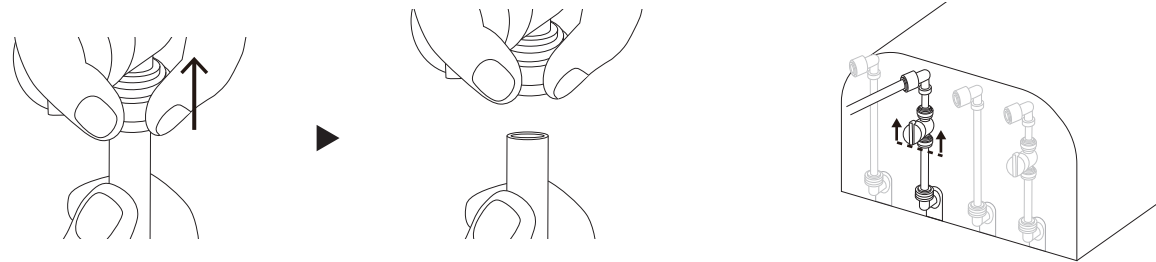
(上記の作業をすることで、接続されているチューブが抜きやすくなります)

※浄水器内に貯まった水が排出されるわけではありません。

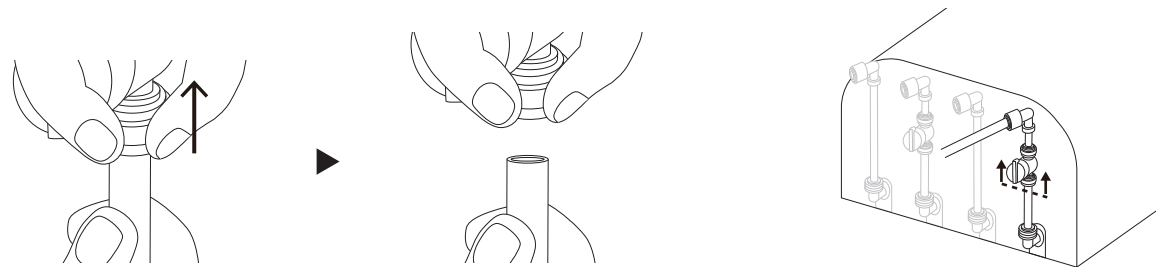
※浄水器を移動せずにフィルター交換作業をされる場合 取り外し方②の工程は不要です。

取り外し方②

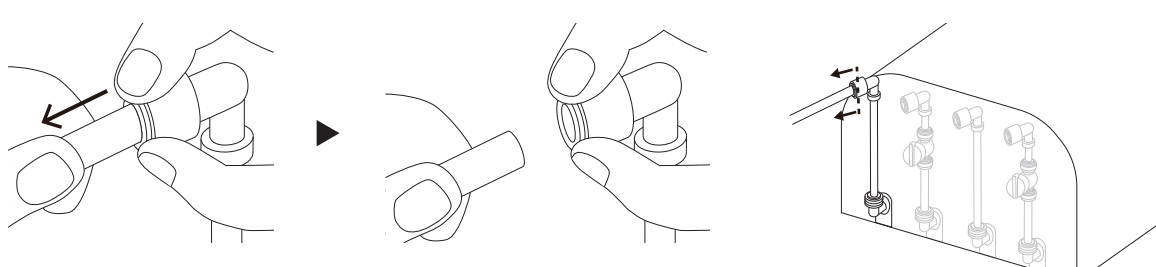
①閉じた状態の水道水2次コックと、その下に接続されている黒色のチューブを取り外します。
※必ずコックと黒色のチューブを取り外してください。コックと上部を取り外してしまうと、水が大量に出てきます。ご心配な方は水道水1次コックを閉じてから作業を行ってください。



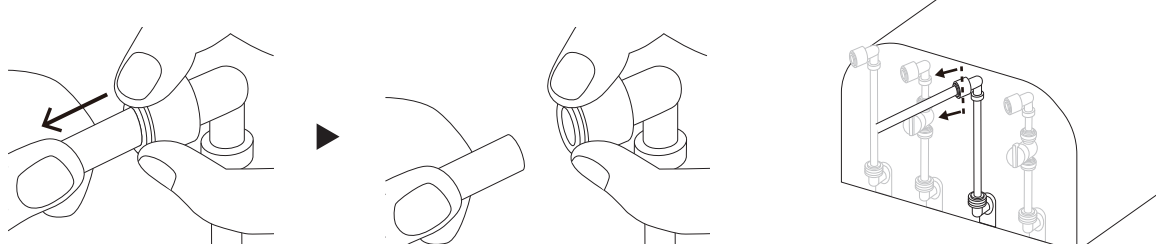
②①と同様に高圧タンク2次コックとその下に接続されている黒色のチューブを取り外します。
※水道水コックと同様に、ご心配な方は水道水1次コックを閉じてから作業を行ってください。



③浄水ラインを継手から取り外します。



④③と同様に排水ラインを継手から取り外します。
※継手からじわじわと水が出てくるため、気になる方は青キャップをご使用ください。

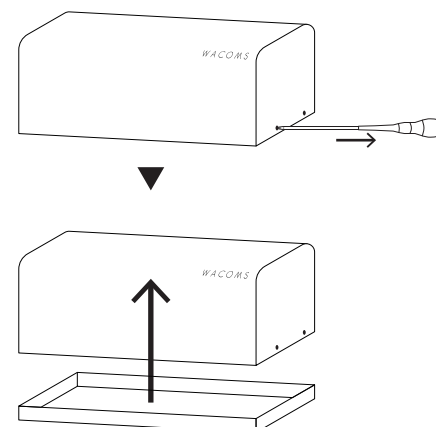


各ラインと電源コネクターが外されていることを確認した後に、浄水器本体を収納部分から取り出します。
フィルター交換をされる場合は、作業のしやすい場所へ移動してください。

取り外し方③

①プラスドライバーを用意し浄水器側面の4箇所のネジを軽くゆるめます。
※ネジは完全に抜かなくても上部カバーを取り外せるようになっています。
※完全に取り外してしまった場合、ネジは紛失しないように保管しておいてください。

②浄水器の上部カバーを取り外します。



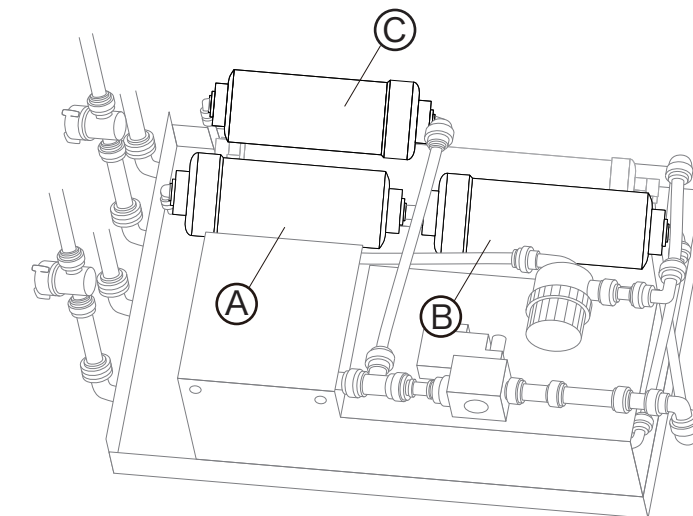
フィルター交換について

作業前確認事項

- ・本浄水器のプレカーボンフィルター、セディメントフィルター、ミネマリンフィルターは推奨交換期間が1年となっていますので、3本とも同じタイミングで交換してください。
- ・チューブ・継手の抜き差しについてはP22をご確認ください。
- ・チューブを抜く際は抜いた箇所から水が漏れてきますので作業中もしくは作業完了後に拭いてください。

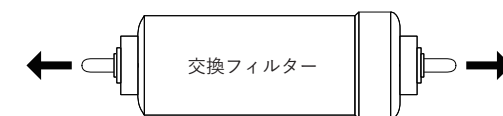
※差し込みが甘いとその箇所から水漏れが発生しますので、しっかりと奥まで差し込んでください。
※フィルターには向きがありますので、各フィルターに記載されている向きと下図の向きが一致するようにセットしてください。

フィルター交換①<1年交換フィルター>

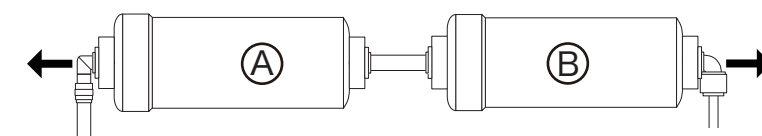


A: プレカーボンフィルター
B: セディメントフィルター
C: ミネマリンフィルター

- ・予め交換するフィルターに挿し込まれているピンキャップを挿し込み口から抜いておきます。
・抜いたピンキャップは後に使用しますので、無くさないように保管をしておいてください。

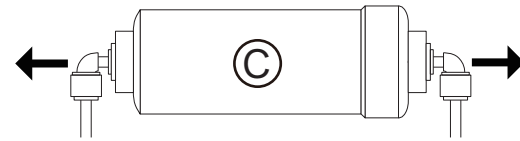


- ・Aのプレカーボンフィルター入口側とBのセディメントフィルター出口側に挿し込まれている継手をフィルターから抜きます。
・①で抜いたピンキャップをそれぞれの挿し込み口に挿入し水漏れを防ぎます。



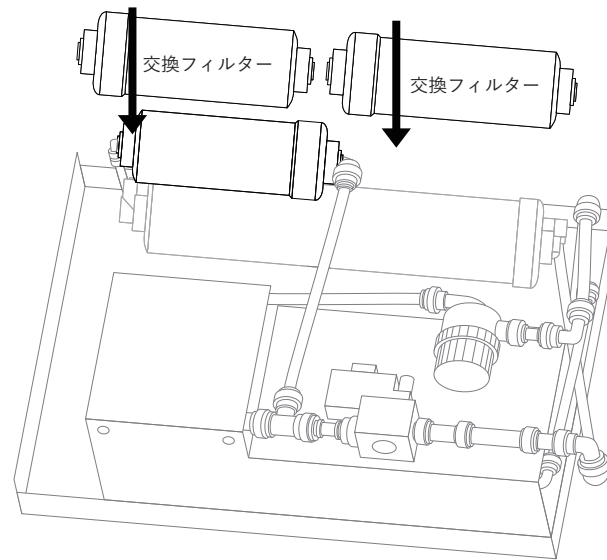
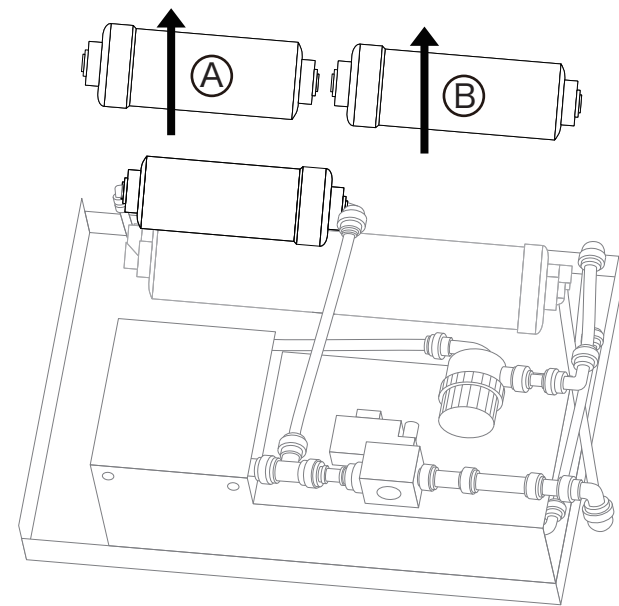
3

- ・Cのミネマリンフィルターの入口と出口に挿し込まれている継手をフィルターから抜きます。
- ・①で抜いたピンキャップをそれぞれの挿し込み口に挿入し、水漏れを防ぎます。



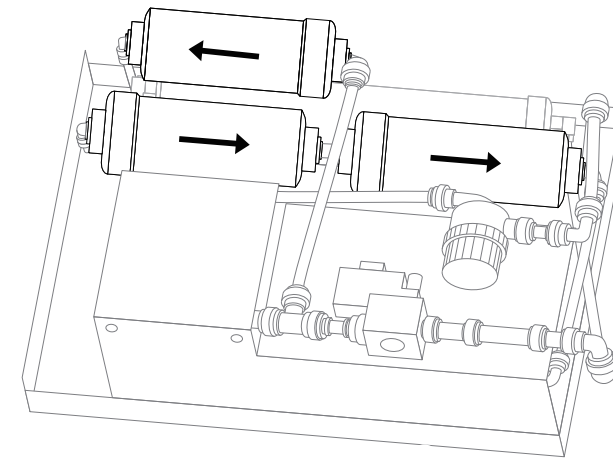
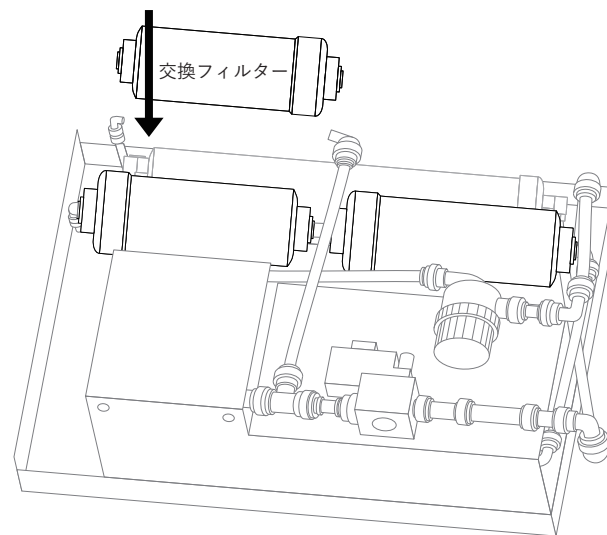
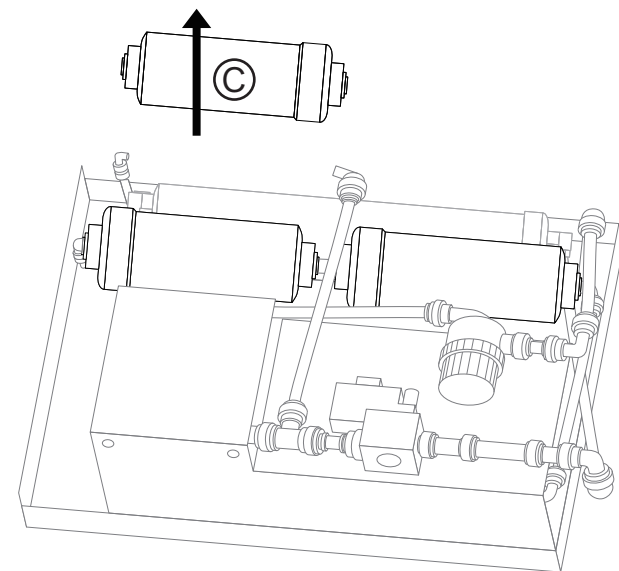
4

- ・AのプレカーボンフィルターとBのセディメントフィルターをフィルターホルダーから取り外し、交換するフィルターをセットします。
- ※フィルターには通水方向(矢印)がありますので、元の通りにセットしてください。



5

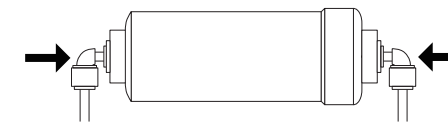
- ・Cのミネマリンフィルターをフィルターホルダーから取り外し、交換するフィルターをセットします。
- ※フィルターには通水方向(矢印)がありますので、元の通りにセットしてください。



フィルター通水方向

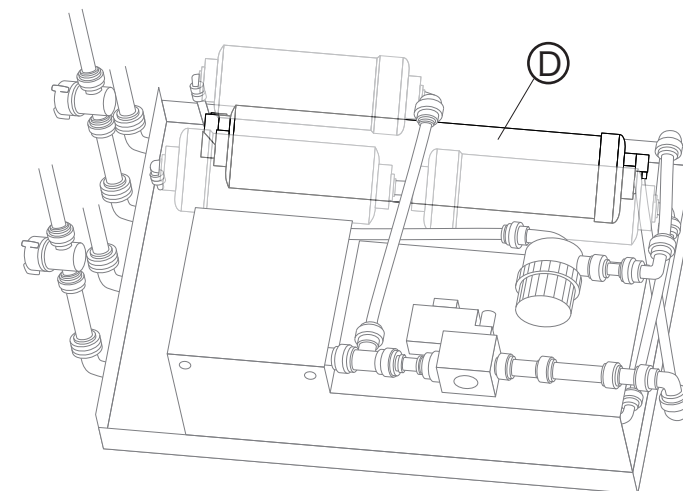
6

- ・元通りに継手を各フィルターに挿し込みます。



フィルター交換②＜4年交換フィルター＞

本浄水器の逆浸透膜フィルター(D)は推奨交換期間が4年となっています。
1年交換フィルター交換と併せて交換作業をしてください。



D：逆浸透膜フィルター

- ・P25の1年交換フィルター交換作業同様に1年交換フィルターを取外した後に逆浸透膜フィルターを外す作業をします。
 - ・Aの逆浸透膜フィルターに接続されている継手を取外します。
 - ・Bのフィルターホルダーが付いた状態で、逆浸透膜フィルターを取外します。
 - ・交換するフィルターをセットします。
- ※新しいフィルターホルダーが逆浸透膜フィルターにセットされていますが輸送時に位置がずれる可能性がありますので、以下の図を参考に正しく配置してください。
- ・フィルターに各種継手を接続します。
- ※接続が不十分だとその部分から水が漏れる恐れがありますので確実に接続してください。

お手入れ完了後の取り付け方法

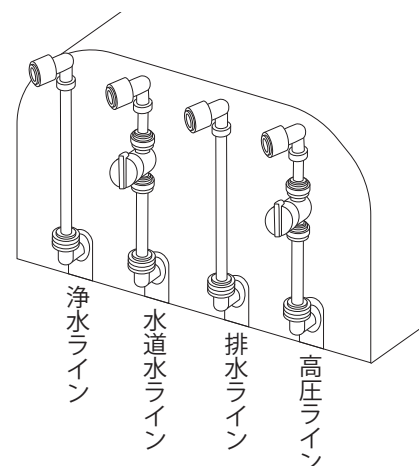
P24で取外した上部カバーは取り付けずに先に収納部へ元通りに配置します。

※フィルター交換作業が正しく行えたかの確認をします。

正しく行えていないと、浄水器稼動時に接続箇所から水が漏れてきます。

配置が出来たら

水道水ライン、高圧タンクライン、排水ライン、浄水ラインを浄水器に再接続します。



水道水2次コック、高圧タンク2次コックを「CLOSE」から「OPEN」に回します。
※それぞれ1次コックを閉じていた場合は1次コックも「閉じる」から「開ける」に回します。

電源ジャックを接続し、浄水器を稼働させます。

この時、高圧タンクが満タン状態だと、高圧センサーが働き浄水器は稼動しないため、専用水栓のレバーを上げて、浄水を15秒ほど出し続けてください。

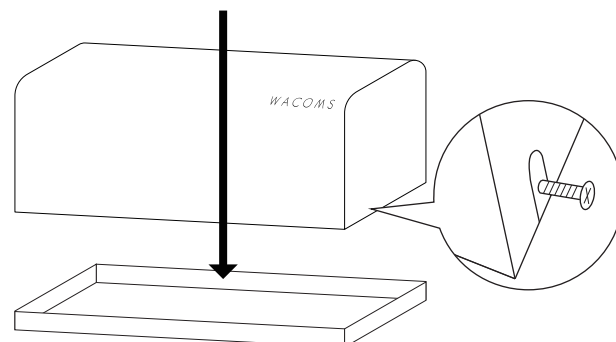
特にフィルター交換で作業した箇所について、水漏れが発生していないかを入念に確認します。

※ジワジワと水漏れが発生していたり、多量の水漏れが発生していないかを確認します。

確認後、上部カバーを元通りに組付けます。

上部カバーの取り付け方

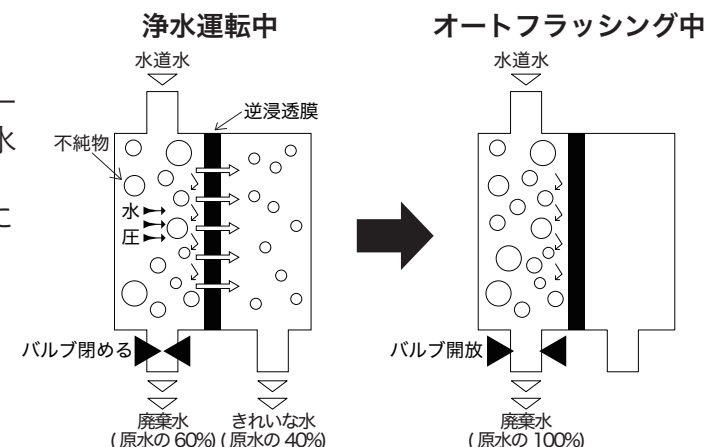
ネジ部分に3mm程の隙間があることを確認し、上部カバーを垂直に降ろします。プラスドライバーで締めます。



その他の機能について

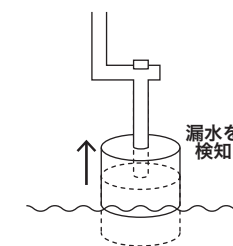
オートフラッシング

逆浸透膜の表面に溜まった不純物質を一気に水を通過させることによって、排水させる機能のことです。
造水を開始する際や電源のON/OFF時に約30秒間作動するようになっています。



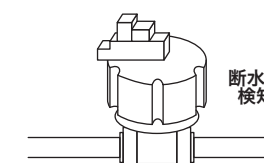
フロートセンサー

「浮き」のような素材で出来ており本体内で水漏れが発生しても浮きが浮上することで、センサーが作動し浄水器が稼動しないように設計されています。



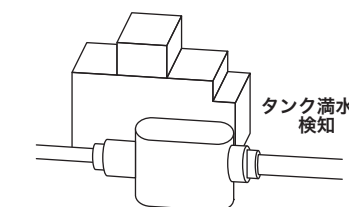
低圧スイッチ

断水などで水道水圧が0.03μPa以下になった際にセンサーが検知し、浄水器が稼動しないように設計されています。



高圧スイッチ

専用水栓のレバーが閉じられている状態で高圧タンクが満水になるとセンサーが検知し、浄水器が稼動しないように設計されています。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検してください。

■水栓のガタツキ(1ヶ月に1回程度)

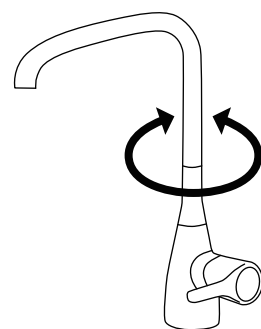
水栓のガタツキがないか確認してください。

ガタついたまま使用すると、配管に負荷がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の原因になります。

■吐水管の回転(1ヶ月に1回程度)

ときどき吐水管を左右に動かしてください。

吐水管を長期間回転させずに使用すると回転部に水垢などが付着し、回りにくくなることがあります。



■配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

配管周りの水漏れがないか確認してください。

劣化・摩擦などで部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

断水・停電した場合

断水時

- ・断水中は低圧センサーが作動し浄水器が稼動しないように設計されていますが万全を期すため、断水中は電源コネクタの接続を外してください。
- ※高圧タンクの貯水分は、専用水栓のレバーを上げると出てきます。

- ・水道が復旧した際に水道管のサビや汚れが本器にいかないようにP10で施工した止水ボールバルブ(水道水1次コックもしくは2次コック)は必ず閉じておいてください。

断水復旧後

- ・水道水に異臭や濁りなどの異常が無い事を確認した後に、水道水2次コックを閉じ、コックとその下の(黒)色チューブを取外します。
- ・大きめの容器に取外した水道水ラインを入れ、水道水2次コックをゆっくりとあけ、出てくる水道水に異常がないことを確認します。
- ・異常が無ければ、水道水ラインを再接続し、1次・2次コックをゆっくりと開け、浄水器の電源を入れてください。

停電時

- ・本浄水器は電気により稼動するため停電中は造水が行われず、使用ができません。雷等の停電原因の影響が本器に及ぶ可能性があるため、電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。
- ※高圧タンクに貯水されていれば専用水栓のレバーを上げると浄水は出てきます。

停電復旧後

- ・停電が解消された時は、水道水用の水栓(本器専用水栓ではない)からの水に異常が無い事を確認した後に、電源プラグを電源コンセント差し浄水器の電源を入れてください。

長期間使用しない場合

■約1週間以上使用しない場合

- ・電源ジャックを抜いてください。

■約1ヶ月以上使用しない場合

- ・電源ジャックを抜き、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- ・水道水1次2次コックを閉じます。
- ・高圧タンク1次2次コックを閉じます。

使用を再開する時

1. 高圧タンク1次2次コックを開けて、電源ジャックを抜いた状態で専用水栓のレバーを上げ、タンク内に貯まっている水を全て出します。
2. 水道水、1次2次コックを開けて、電源アダプターをコンセントに挿し、専用水栓から浄水が出てくることを確認します。
※出てこない場合は高圧タンク2次コックを閉じてください。
3. 一度タンク内貯水を満水にし、全て破棄してからご使用下さい。
※異常が見られた場合は使用を中止し、お問い合わせ下さい。

よくあるご質問

Q.フィルターは交換目安期間以上使えないの？

A.フィルターの交換目安期間は、対象の除去物質ろ過能力試験において1日15Lを使用(造水)した想定での試験から算出しています。対象物質のみでの結果となり複合的な水質での試験結果ではありませんので、ご使用水量に関わらず交換時期は守ってください。

Q.地下水(井水)でも使用出来るの？

A.鉄やマンガンが含まれていた場合、フィルターが目詰まりを加速させる原因となり浄水器に不具合が生じる可能性がありますので、使用しないでください。

Q.お湯を浄水できないの？

A.4℃～40℃までご使用いただけます。

Q.浄水は何日間置いておいてもいいの？

A.不純物や雑菌を取り除いていますので、直ちに水が痛んでしまうことはありませんがなるべく早めに使用してください。

Q.高圧タンクの水は入れ替えないでいいの？

A.高圧タンク内部の貯水部は空気が触れない真空状態であり、貯水される水も浄水されている水のため、雑菌等が繁殖しにくい構造になっています。
また、随時造水された水が循環されるので、通常通り使用される場合は水を入れ替える必要はありません。
※長期間使用していない状態から使用を再開される場合は、タンク内の水の廃棄を2～3回ほどした後に使用してください。

Q.観賞魚に使用しても問題はないか？

A.生体に良くない影響を及ぼす可能性がありますので、使用しないでください。

Q.pHはどれくらいですか？

A.6.8～7.0となっております。

Q.冷蔵庫の自動製氷機能で氷を作ってもいいのか？

A.ご使用いただけます。
冷蔵庫によっては「水道水以外の水を使用しないでください」の記載がある場合もありますので冷蔵庫の販売元や製造元にお問合せのうえご使用ください。

Q.排水は飲めないの？

A.不純物質が濃縮されておりますので、飲料用や調理用など全ての用途において使用しないでください。

修理を依頼される前に

1. 専用水栓のレバーを上げてても浄水が出ない。もしくは少ししか出ない
- ・ 高圧タンクのパルプが閉じられている場合は、造水中の水しか出ないため、高圧タンクのパルプを開けるに
して確認してください。
 - ・ 高圧タンクの貯水がない場合は、造水中の水しか出ないため、高圧タンクに貯水されているか、持ち上げて確
認してください。
 - ・ 浄水器が稼動していない可能性があります。下段の「浄水器が動かない」の項目をお読みになって確認をして
ください。
- ※改善されない場合は販売店へご連絡ください。
2. 廃棄水口からの排水が止まらない
- ・ 造水中は本器の構造により、廃棄水が吐水されるようになっております。高圧タンクが空の状態から満水にな
り、浄水器が停止した後も排水が止まらないかを確認してください。
3. 造水時間が遅い
- ・ 水温や水質によって造水時間は変わりますので、冬場はタンク満水までの目安時間が1.5～2倍になります。
 - ・ フィルター交換目安期間を超過していると目詰まりを起こし、造水に時間がかかります。
4. 浄水器が動かない
- ・ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認をしてください。
 - ・ 原水パルプが「閉じる」になっていないか確認をしてください。
 - ・ 内部フロートセンサーの浮きが上がっていないか確認をしてください。
 - ・ 電源ジャックが外れていないか確認をしてください。
 - ・ 水道水1次、2次コックが「閉じる」になっていないか確認をしてください。
5. 本体からカチカチ音が連続で鳴る
- ・ 本体内部の電気部材を連動させるリレーの接点異常の可能性があります。
直ちに電源ジャックを抜き、使用を停止してください。
6. 排水が白く濁っている
- ・ フィルター内の空気が逆浸透膜で圧縮されているため、白濁している排水が出る場合があります。

仕様

項目	内容
機種名	WACOMS TRUST under
型名	ワコムスアンダーシンク型家庭用浄水器
型番	WS300-U1S
定格	AC100V 50/60Hz
消費電力	26W
最低動水圧	0.03MPa
使用可能な動水圧	0.1MPa～0.4Mpa
使用水温	4℃～40℃
回収率	37%
ろ過水量	0.16L/分
ろ材の種類	1)活性炭 2)不織布 3)逆浸透膜 4)活性炭

本 体	サイズ	W368mm×D202mm×H160mm
	材料	アルミニウム・ステンレス
	重量	約8.5kg

専 用 水 栓 （ ス ト レ ー ト タ イ プ ）	形態	元止め式専用水栓
	材料	黄銅・耐脱亜鉛黄銅
	取付穴	Φ35～Φ37(mm)
	取付方式	馬蹄式
	サイズ	上部高さ 272mm 吐水口高さ 205.3mm
	重量	約2.0kg
専 用 水 栓 （ ス ワ ン タ イ プ ）	形態	元止め式専用水栓
	材料	黄銅・耐脱亜鉛黄銅
	取付穴	①Φ29～30(mm) ②Φ36～38(mm)
	取付方式	馬蹄式
	サイズ	上部高さ 291mm 吐水口高さ 201mm
	重量	約2.0kg

高 圧 タ ン ク	サイズ	W330mm×D270mm×H160mm(2Lタンク2個連結時) W205mm×D320mm×H205mm(4Lタンク時)
	材料	スチール・ブチルゴム
	重量	約6.8kg(2Lタンク×2個満水時)(貯水量は約3.6～3.8L) 約6.3kg(4Lタンク満水時)(貯水量は約3.8～4.0L)

カ ー ト リ ッ ジ	浄 水 能 力	遊離残留塩素	ろ過水量5,475L(除去率80% JIS S 3201での試験結果)
		濁り	ろ過水量5,475L(除去率80% JIS S 3201での試験結果)
		溶解性鉛	ろ過水量21,900L(除去率80% JIS S 3201での試験結果)
	ろ材の交換時期 の目安		1)1年 2)1年 3)4年 4)1年 (1日15L使用した場合)
	材料		ポリプロピレン

除去性能
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 除去率99% JIS S 3242を参考にした試験結果
ひ素(五価) 除去率99% JIS S 3242を参考にした試験結果

商品に関するお問い合わせはこちら

株式会社フォレストホームサービス

0800-170-4010
フリーコール

FAX:075-231-8166
10:00～19:00 受付(月～金)
※電話が繋がらない場合は、下記の弊社ホームページ
にて営業日・営業時間をご確認ください。
<http://www.forest-hs.com/>